

令和4年度 地域づくり活動応援事業

実績報告集 一般枠、特別枠



(令和5年2月現在)

発行

兵庫県西播磨県民局

〒678-1205 赤穂郡上郡町光都 2-25
TEL:0791-58-2129 / FAX:0791-58-0523

目

次

事業名	実施団体	
一般枠		
1 ~日本遺産の町播州赤穂~えん(塩)結び・赤穂の結婚式~	加里屋城下町ウェディング実行委員会	・・・ 1 頁
2 医療と介護について「話せて学べて仲良く助け合う」場づくり2022	はまなすの会	・・・ 5 頁
3 利神ふれあいキャンプ	利神ふれあいキャンプ実行委員会	・・・ 10 頁
4 地域のまちづくり振興活動事業	御津歴史同好会	・・・ 12 頁
5 『花鳥風月』~ひとこまをつなぐ~	しんぐうNext	・・・ 15 頁
6 中井地区魅力ある歴史発信事業	中井老人会	・・・ 19 頁
7 若者と語る菖蒲谷の歴史と自然	菖蒲谷村の遺構を保存する会	・・・ 23 頁
8 鉄道のない町穴栗市を鉄道模型で地域活性化	特定非営利活動法人 しそく夢鉄道	・・・ 26 頁
9 「塩・塩廻船のまち播州赤穂」深堀ジオ観光プログラム開発	播州赤穂の塩・ジオ研究会	・・・ 31 頁
10 上高谷 くつろぎの縁側	上高谷自治会	・・・ 33 頁
11 楽しむことをバリアフリーに！ユニバーサルニュースポーツ「らくスポ」	T-SIP たつのソーシャルインクルージョンプロジェクト	・・・ 36 頁
12 穴栗くらし移住支援舎 地域交流および広報活動事業	穴栗くらし移住支援舎	・・・ 39 頁
13 揖西をロゲイニングしよう	揖西北まちづくり協議会	・・・ 43 頁
14 デザイン書道教室	劇団アルティスタ	・・・ 45 頁
15 みんなでつくろう！ 龍山公園復活プロジェクト	相生（おお）の港町を持続させる会	・・・ 47 頁
16 平福ヒノアタルマルシェ	佐用まちづくり塾	・・・ 49 頁
17 利神城と平福宿写真コンテスト	佐用山城ガイド協会	・・・ 51 頁
18 THEリズムデー ~音楽が楽しいと感じる日~	播州ストリートダンス協会	・・・ 53 頁
特別枠 (交流人口拡大事業)		
19 Techno Music Shower 2022 (水のさと魅力発信事業)	3Mプロジェクト協議会	・・・ 56 頁
20 千種川リバーアスロン2022	上郡校区まちづくり推進委員会	・・・ 59 頁
21 西播磨の「水の郷」展覧会による魅力再発見事業 (子育て事業)	三軌：兵庫西播磨の会	・・・ 64 頁
22 STAR GATE 2022 the kids	陰陽師の里 江川フェスティバル実行委員会	・・・ 67 頁

加里屋城下町ウェディング実行委員会

～日本遺産の町播州赤穂～えん(塩)結び・赤穂の結婚式

所在：赤穂市
代表：水野 香保里

<p>目的</p>	<p>赤穂市は二つの日本遺産を持ち、自然と歴史と文化あふれる町です。特に赤穂城跡や赤穂大石神社、浅野家の菩提寺花岳寺等は「忠臣蔵のふるさと」として多くの観光客が訪れていました。しかし、近年忠臣蔵を知らない世代が増え、また2020年より世界的に広がる新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、赤穂城周辺を訪れる観光客は激減しました。そして、依然続くコロナ禍の影響で、市内で行われていたイベントやお祭りも中止が続き、赤穂の一大イベントの夏の花火大会の終了も決まり、町に元気がなく閉塞感漂っております。また、一昨年度提唱しました若者を取り巻く結婚式も、コロナ禍で規模の縮小、中止や延期が続いております。赤穂市や西播磨においても同じ現状であります。地域住民や商店街だけでは日々の生活に追われ、町おこしのイベントを実施できない現状で、赤穂の歴史的財産である「赤穂城」や「忠臣蔵」を活かしきれていません。一昨年度より赤穂城周辺・加里屋地区の魅力に着目した当団体が中心となり、結婚事業を展開することにより、賑わいをもたらしたいと考えました。コロナ禍でも人と人の出会いはなくなりません。むしろ、積極的に結婚事業を進めることで、結婚をする世代の皆様を応援し、地域の活性化に繋げ、元気な赤穂・西播磨を目指します。</p>
<p>事業内容</p>	<p>(事業内容)</p> <p>当実行委員会は、忠臣蔵のふるさと赤穂市の中心市街地加里屋地区や赤穂城を舞台に赤穂ならではの結婚式を行うことで地域の元気を創出しようと、一昨年度より結婚事業を行いました。赤穂に伝わる長持ち唄の披露、写真展での昔の結婚式の紹介、赤穂緞通作り体験等、古い文化との融合を図りました。そして、赤穂の結婚式を広める為に広報活動も積極的に行いました。</p> <p>今年度は、赤穂の誇りである「日本遺産」を絡め、赤穂市全体を結婚式の舞台とし、結婚式の中で赤穂の塩にちなんだセレモニーを取り入れます。</p> <p>赤穂城 → 江戸時代、赤穂城を中心に、赤穂藩は塩田事業を拡大した 御崎(海浜公園) → 良質な塩を産した塩田がありました 坂越 → 坂越から、北前船が全国に塩を運んだ</p> <p>また、赤穂城への集客として、赤穂城跡で写真展を行います。</p> <p>※2年間のコロナ禍で、結婚式をあきらめてしまっている方が多くいます。そのような方へ「フォトウェディング(写真だけの結婚式)」も、随時行います。実際、令和3年度は2組の方が行い、ご家族共々喜んでいただけました。</p> <p>(展開手法)</p> <p>○広報活動</p> <p><PRチラシ・ポスターの作成></p> <p>①「赤穂お城ウェディング」(令和4年度実施)の内容、写真を掲載 ②令和5年度実施の内容や写真も載せたのものを作る(作成中)</p> <p><PR活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・西播磨地域に広く広報する。(新聞掲載等) ※SNSを使っての情報発信は引き続き行う。



<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">事業内容</p>	<p>○えん（塩）結び・赤穂の結婚式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般より募集を行い、助成事業として行う。 12/4「赤穂お城ウェディング」（赤穂城や大石神社を中心に行う） 従来の結婚式もリニューアルして行う（塩を絡めて） ※事業実施期間外 2023/4/15 「赤穂お城ウェディング」 ・フォトウェディング 11/3「坂越の嫁入り」（フォトウェディングの部分を担当） ※事業実施期間外 2023/3/2「赤穂お城ウェディング」（赤穂城写真撮影） 2023/11 「坂越浦ウェディング」（坂越で写真撮影） <p>○伝統文化のとの融合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新郎新婦緞通体験（赤穂緞通研修工房つむぐ）11/6 ・恵比寿大黒舞の披露（2/25 坂越と御崎でPRイベントを実施予定） ・赤穂の地酒での鏡開き 12/4 セレモニー内で <p>○「日本遺産」を絡める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親族による塩作り体験（赤穂海浜公園「塩の国」）、11/6 ・結婚式の中で赤穂の塩にちなんだセレモニー12/4 新郎新婦が作った塩で「塩結びおにぎり」を作り、食してもらう <p>○写真展</p> <p>2023年1月15日（日）～1月23日（月）雲火焼展示館桃井ミュージアム 2023年1月26日（木）～2月5日（日）くつろぎの縁側 優・優 2023年2月8日（水）～2月19日（日）赤穂城跡大手門番所跡休憩所 お食事処一粋</p> <p>※補助事業実施期間外 JR 播州赤穂駅隣接の「プラットフォーム」でも開催予定</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域</p>	<p>赤穂、西播磨（広報活動） 赤穂（ウェディング事業・写真展）※12/4 参列者は県内、県外から</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">事業の効果</p>	<p>【元気な地域づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でお祭りやイベントがなくなった赤穂城周辺で実施することで、中心市街地に賑わいが生まれました。赤穂を代表する「赤穂城跡」「大石神社」等を舞台とした結婚式とし「義士の町赤穂」をPRできました。（参列した市内外の多くの方に知ってもらえた） ・地域に昔から伝わる「恵比寿大黒舞」を披露することで、古き良き時代の風習を伝承しました。（恵比寿大黒舞は江戸時代から赤穂に伝わるめでた舞）また、緞通工房にて新郎新婦に緞通体験をしていただくことで、赤穂の伝統文化の継承ができました。 ・日本遺産の塩を絡め、塩作り体験、塩むすびセレモニーで多くの方に「赤穂の塩」を知っていただいた。また、北前船の寄港地坂越にて、嫁入りにフォトウェディングで参画し、PRイベントを行うことで、若い世代にその魅力を伝えることができました。 ・実施後、写真展を開催することで、多くの方に赤穂の結婚式の魅力を伝えることができました。特に赤穂城跡での写真展は初めてで、お城の集客に繋がりました。 <p>【結婚応援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で結婚式を挙げにくい現状。赤穂オンリーワンの記念に残る結婚式になりました。 ・市内外の方に赤穂の結婚式を広め、写真撮影ができる素晴らしい場所があることを広く知っていただけました。 ・都市部に出向かなくても新しいスタイルで結婚式ができることを広め、赤穂の定住促進に繋がりました。



		場 所	事 業 内 容	参加者数	スタッフ数
事業経過	9月10日	赤穂市・西播磨	ウェディングカップル募集開始 赤穂市内、西播磨の各市町にて広報活動（9月いっぱい）		3人
	10月9日	くつろぎの縁 側 優・優	カップル決定（実行委員会）	2人	3人
	11月3日	坂越	坂越の嫁入りフォトウェディング	2人	2人
	11月6日	赤穂緞通研修 工房つむぐ	新郎新婦赤穂緞通体験	2人	2人
		赤穂市立海洋 科学館「塩の 国」	ご親族塩作り体験	4人	2人
	11月19日		赤穂市クラウドファンディング応援 事業 立ち上げ（1/5まで）		
	12月4日	赤穂城跡	お城ウェディング	65人	4人
	1月15日	桃井ミュージ アム	写真展～1月23日（月）	約50人	3人
	1月26日	くつろぎの縁 側 優・優	写真展～2月5日（日）	約50人	3人
	2月7日	赤穂城跡	神戸新聞取材	約200人	3人
	2月8日	赤穂城跡	写真展～2月19日（日） 赤穂城跡大手門番所跡休憩所 お食事処一粋	約500人	3人
	2月25日	坂越、御崎	PRイベント 「花嫁と恵比寿大黒舞」 ※3/2 フォトウェディング、4/15 お城 ウェディングの希望者がいるので実 施 ※実行委員会は随時行いました		

11月3日 「坂越の嫁入り」にてフォトウエディング（生島に見える大避神社）



11月6日 赤穂市立海洋科学館
「塩の国」（赤穂海浜公園内）



11月6日 赤穂緞通研修工房つむぐにて



（2月25日写真掲載）

<p>協働の相手方</p>	<p>11/3 坂越の嫁入り 坂越の皆様</p>
<p>今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続して結婚式を行っていただけるようしくみ作りをします。 ・ 市内だけでなく市外にも、積極的にPR活動を行う。 ・ 赤穂だけでなく、西播磨の結婚事業として広めていくことで、若者の定住促進、人口増加につなげていきたい。 ・ 赤穂オリジナルの歴史や文化を活かしたオンリーワン結婚式、日本遺産や地域の伝統文化との融合をはかります。 ・ 結婚世代の方達に向け広報活動に力をいれ、赤穂市の観光や定住促進担当と連携をはかり、地域に根差したものにしていく。

はまなすの会

医療と介護について「話せて学べて仲良く助け合う」場づくり 2022

所在：揖保郡太子町

代表：太田 直美

目的	<p>がんと向き合い、これからの生き方を模索する場所（はまなすの家）を作ること、がんだけでなく他疾患についての医療と介護の制度の情報提供と、必要な制度が利用できる様に支援する。それにより最後まで自分らしく生活できることに繋ぐ。</p>
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1, 医療と介護についての講演会（毎月1回） *本年度新事業「出張はまなすの会 N佐用」 2, がんサロン（太子町毎月1回） *本年度7月より佐用町・姫路駅前にてがんサロン開始 3, 「はまなすの家」4月1日オープン（9時～16時）20日/月 *個別相談・食事等の提供・ソフトヨガ1回/週・アロマトリートメント適宜 がんピアサポート 4, ケア帽子作製、無料提供 *「はまなすの家」が出来たことで作製回数3回/週以上となり枚数も増加 *各がん診療連携病院への配布。出張配布（コープこうべ店舗）。たつの市、佐用町、上郡町の役所内にも配布場所確保 5, 「はまなすの畑」での親子イベント 3回/年
地域	<p>西播磨地域中心に兵庫県内全般</p>
事業の効果	<ol style="list-style-type: none"> 1, 毎月の講演会は、コロナ禍の影響で参加人数の減少はあったが、その都度関心のある方の参加があり「聞いて良かった。」等の反応あり。6月の佐用町教育委員会、高年介護課と連携しての講演会では大多数の住民に緩和ケアの正しい常識を聴講。<u>参加総人数：408人</u> 2, がんサロンの箇所を増やしたことで、広範囲からの参加者あり。姫路のメディカルサロンについては医師が常に参加していることで、セカンドオピニオンの効果も生んでいる。<u>立岡サロン参加総数：96名 さようサロン：35名 姫路メディカルサロン：49名</u> 3, 「はまなすの家」を開設してことで、相談件数増加。在宅看取り支援もその都度行ったことで希望通りの看取りとなった。<u>：5件</u> <p>地域の高齢者の健康管理（食事補助、ソフトヨガ・いきいき百歳体操・アロマオイルトリートメント）を行ったことで病状悪化防止となった。</p> <p>がん患者さんの居場所として、がんについて普通に話が出来ることで、一人で悩み閉じこもりになりかけていた方が不定期ではあるが来られる。又ホームページを充実したことで、「ホームページが更新されていることは、はまなすの家があることを意味し、気持ちがしんどくなったらそこに行けばいい。そこがあること自体が僕の支えになっている。」との言葉をいただいている。</p> <p><u>「はまなすの家」来所総人数：1,474人</u></p>

事業の効果	<p>4, ケア帽子作製は、「はまなすの家」の1室を作製室としたことで、それぞれのボランティアの方々が自身の都合に合わせて来られ作製数増加。又材料についても種々の機関紙等への掲載も行い、佐用町、上郡町、神戸、淡路の方々からも寄付をいただく。SDGsの一端と考える。配付総数：902枚</p> <p>布マスクをほどこき帽子の裏側に使用。使用不可の布マスクにいただいた玄米を入れ玄米レンジカイロを作製。これもケア帽子と一緒に無料提供。</p> <p>「抗がん剤治療は辛いけど、色んな人達が応援してくれていると思うと頑張ろうと思います。」等のお礼のメッセージも多数あり。</p> <p>がん診療拠点病院への提供数を増加できたことで、院内で患者1人に1枚しか提供できていなかったのが、複数枚提供出来るようになった。</p> <p>たつの市、佐用町、上郡町で役所にケア帽子を置いてもらい配布いただくことで、遠方の方にも必要時すぐ手に入れてもらいやすくなった</p> <p>5, 「はまなすの家」の畑で親子イベントを行ったことで、まずは親御さんに野菜の本来の姿を知ってもらえた。子供達は土遊びや、自然の虫の観察等に夢中。自然の大切さと食育の一部が行えた。総参加人数：48人</p>				
事業経過		場所	事業内容	参加者数	スタッフ数
	4月3日	はまなすの畑	親子畑イベント	18	6
	4月24日	立岡公民館	「がんのリハビリテーションについて」 理学療法士 時本 清己	16	5
	5月9日	はまなすの家	パン作り	2	1
	5月15日	立岡公民館	「がん体験発表会」 姫路聖マリア病院 田村亮医師	170	5
	5月18日	はまなすの家	ソフトヨガ	17	2
	5月25日	はまなすの家	ソフトヨガ	6	2
	6月1日	はまなすの家	ソフトヨガ	4	2
	6月7日	はまなすの家	ソフトヨガ	3	2
	6月13日	はまなすの家	ソフトヨガ	5	2
	6月20日	はまなすの家	パン作り	4	2
	6月21日	はまなすの家	ソフトヨガ	5	2
	6月26日	さよひめホール	「緩和ケアについて知りましょう」 姫路医療センター吉村純彦医師& 谷五郎氏	190	18
	6月29日	はまなすの家	ソフトヨガ	6	2
	7月5日	はまなすの家	ソフトヨガ	3	2
	7月15日	はまなすの家 コムサロン 21ルーム	ソフトヨガ がんメディカルサロン「はまなす」	3 5	2 2
	7月20日	はまなすの家	ソフトヨガ	7	2
	7月25日	はまなすの家	ソファーベッド	5	2
7月28日	佐用町生きがいづくりセンター	がんサロン・さよう	7	2	

事業経過	7月31日	立岡公民館	1「がん相談支援センターの役割」 2「抗がん剤治療が日常生活に与える具体的内容とその対処法」 姫路赤十字病院 がん診療連携課 課長 緩和ケア認定看護師 井上豊子氏 姫路赤十字病院 看護係長 がん化学療法看護認定看護師 石原里美氏	20	5
	8月5日	はまなすの家	ソフトヨガ	2	2
	8月17日	はまなすの家	ソフトヨガ	3	2
	8月19日	コムサロン 21ルーム	がんメディカルサロン「はまなす」	7	2
	8月21日	立岡公民館	「放射線治療って」 兵庫がん患者連絡会・肺ゆう会 会長 古川 宗氏	8	4
	8月22日	はまなすの家	ソフトヨガ	3	1
	8月24日	はまなすの家	ソフトヨガ	8	2
	8月25日	佐用町生きがい づくりセンター	がんサロン・さよう	5	2
	9月7日	はまなすの家	ソフトヨガ	3	2
	9月8日	はまなすの家	パン作り	1	1
	9月12日	はまなすの家	ソフトヨガ	3	2
	9月16日	コムサロン 21ルーム	がんメディカルサロン「はまなす」	9	2
	9月21日	はまなすの家	ソフトヨガ	10	1
	9月22日	佐用町生きがい づくりセンター	がんサロン・さよう	2	2
	9月23日	はまなすの畑	親子畑イベント	15	6
	9月25日	立岡公民館	「ホスピスボランティアについて」 神戸つむぎの会 松井 由子氏	9	4
	9月30日	はまなすの家	ソフトヨガ	4	1
	10月7日	はまなすの家	ソフトヨガ パン作り	1 3	2
	10月8日	兵庫県民会館	あけぼの全国大会ケア帽子情報提供		3
	10月12日	はまなすの家	ソフトヨガ	4	2
	10月17日	はまなすの家	ソフトヨガ	4	2
	10月21日	コムサロン 21ルーム	がんメディカルサロン「はまなす」	3	2
	10月23日	はまなすの畑	親子畑イベント	4	4
10月26日	はまなすの家	ソフトヨガ	6	2	
10月27日	佐用町生きがい づくりセンター	がんサロン・さよう			
11月4日	はまなすの家	ソフトヨガ	7	2	

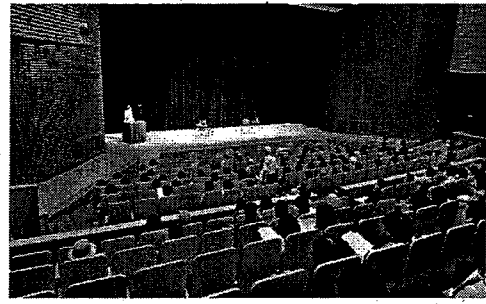
事業経過	11月6日	立岡公民館	1「骨髄移植について」 2「骨髄移植体験談」 姫路赤十字病院血液内科医師 久保西 四郎氏 体験者 太田 直美氏	16	5
	11月9日	はまなすの家	ソフトヨガ	3	2
	11月10日	はまなすの家	パン作り	2	2
	11月14日	はまなすの家	ソフトヨガ	3	2
	11月18日	コムサロン 21ルーム	がんメディカルサロン「はまなす」	5	1
	11月24日	佐用町生きがい づくりセンター	がんサロン・さよう	5	1
	11月25日	はまなすの家	ソフトヨガ	5	1
	11月26日	兵庫県民会館	兵庫県がんフォーラムケア帽子無 料提供		4
	12月9日	はまなすの家	ソフトヨガ	4	1
	12月12日	コープこうべ 兵庫店	ケア帽子無料提供		3
	12月16日	はまなすの家 コムサロン 21ルーム	ソフトヨガ がんメディカルサロン「はまなす」	2	1
	12月18日	立岡公民館	「逝くという自然に向き合う」 おかやま在宅クリニック 院長 岡山容子氏	49	5
	12月21日	はまなすの家	ソフトヨガ	5	1
	12月22日	佐用町生きがい づくりセンター	がんサロン・さよう	3	1
	12月26日	はまなすの家	ソフトヨガ	2	1
	R5 1月12日	はまなすの家	ソフトヨガ	2	1
	1月20日	コムサロン 21ルーム	がんメディカルサロン 「はまなす」	5	1
	1月21日	はまなすの家	アロマトリートメント	3	
	1月23日	はまなすの家	ソフトヨガ	4	1
	1月25日	コープこうべ 兵庫店	ケア帽子無料提供		3
	1月26日	佐用町生きがい づくりセンター	がんサロン・さよう (大雪の為待機スタッフのみ)		1
	1月28日	コープこうべ シーア	ケア帽子無料提供		4
	1月29日	立岡公民館	DVD 視聴「緩和ケアについて知りま しょう」	10	5

4月1日「はまなすの家」オープン



6月26日

出張はまなすの会 IN 佐用



5月18日ソフトヨガ



1月28日コープこうべシーア

ケア帽子無料提供



協働の相手方	<ul style="list-style-type: none">・コムサロン21・佐用町高年介護課・教育委員会・健康福祉課・ひょうごがん患者連絡会・兵庫県疾病対策課・コープこうべシーア店・コープこうべ兵庫店・コープともしび財団・上郡町高年福祉課・藤原とみヨガイストラクター
今後の展望	<ul style="list-style-type: none">・2023年度は上郡町との合同講演会予定。新規がんサロンの場所開設を目指す。・「はまなすの家」でのイベントの継続・新規イベントを考案し、集いの場所としての役割強化を図る。それにより医療や介護についての困りごとを抽出し、必要時に対応を行っていく。(がんピアサポート含む)・ケア帽子を作製し、他のがん患者会等とも連携し、より多くの必要な患者さんへの無料提供を継続。

利神ふれあいキャンプ実行委員会

利神ふれあいキャンプ

所在：佐用郡佐用町
代表：竹田 拓朗

目的	子ども達が、地域の自然や、文化、歴史を感じ、地域住民とふれあうことにより、地域の良さを知り、郷土愛を育む機会を提供する。				
事業内容	利神城跡ガイドツアー 皆田和紙を使用した行燈づくり グラミンカ佐用でグランピング体験 平福で川遊び (SUP、ボート)				
地域	利神地域 (旧利神小学校区)				
事業の効果	子ども達の生涯の記憶に残る貴重な経験を提供することにより、地域の良さを知り郷土を愛する心を育む。 すぐに何か明確な結果がでることはありませんが、自身のルーツとしての故郷をより良く感じ、故郷を誇りに思うことができれば、地域の未来が明るくなり、新たな希望が生まれたといえます。				
		場 所	事 業 内 容	参加者数	スタッフ数
事業経過	令和4年 5月7日	平福道の駅	企画検討会議		2
	令和4年 8月20日	エトランゼ	企画検討会議		8
	令和4年 8月21日	利神城跡、平福	登山道整備、会場下見		6
	令和4年 8月27日	ふれあい長谷	スタッフ全体会議		26
	令和4年 9月3日	平福→石井	利神城跡ガイドツアー 皆田和紙行燈づくり グランピング体験	39	26
	令和4年 9月4日	石井→平福	グランピング体験 平福川遊び (SUP、ボート)	35	15
	令和4年 9月28日	平福道の駅	反省会		2

令和4年9月3日
利神城ガイドツアー



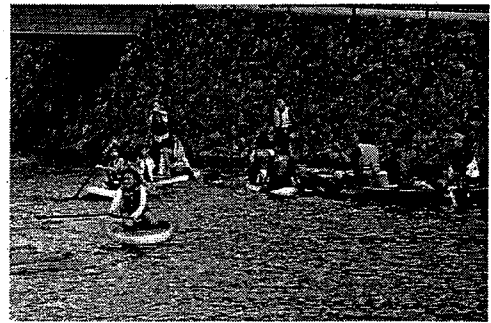
令和4年9月4日
グランピング体験



令和4年9月3日
皆田和紙行燈づくり



令和4年9月4日
平福川遊び



<p>協働の 相手方</p>	
<p>今後の 展望</p>	<p>母体となる組織が無いため、毎年開催するかどうかを検討する事からスタートする。 開催すれば、参加者やスタッフからの反響が大きく満足な成果が期待できるが、実行委員の負担が大きいため明確な展望を立てることが難しい。ただ昨年と今年で、地域の子どものために継続したいとの思いを持つ人が数名いる。何とか継続したいので支援をしていただきたい。</p>

地域のまちづくり振興活動事業

所在：たつの市
代表：井上 末廣

<p>目的</p>	<p>御津地域は古く播磨国風土記にも掲載されている歴史ある地域であるが、嘉吉の乱や羽柴秀吉の軍に侵攻されたことにより、貴重な寺社や宝物が焼失してしまった。御津歴史同好会では、現在郷土に残された資料の発掘や未発掘の資料を探し出し、後世に残したいとの思いで活動を行っている。</p> <p>令和元年から令和3年にかけて、「ふるさとシリーズ」として「ふるさとの神様」「ふるさとの道しるべ・お地蔵さん・お寺」「ふるさとの醤油・塩・瓦づくり」といった冊子を毎年1冊ずつ刊行し、小中学校・自治会・老人会・図書館・龍野歴史文化資料館・西播磨文化会館等に配布し、御津地域の資料として参考にして貰っている。</p> <p>今回は、地域の財産である「顕彰碑等の石造物」や「とんど」について新たに調査し、総括して御津地域の財産を冊子として後世に残し、地域財産の伝承と文化意識の向上に寄与したい。</p>				
<p>事業内容</p>	<p>既に発刊した3冊に加え、新たに「顕彰碑等の石造物」や「とんど」について新たに調査し、また資料を発掘するなど、郷土に残された貴重な史跡・風習を伝えていくことで、改めて自分たちが住む地域に誇りを持つことができるような冊子を作成する。</p>				
<p>地域</p>	<p>御津地域</p>				
<p>事業の効果</p>	<p>御津地域に現存する「顕彰碑等の石造物38基」と御津地域内各村々で行われる「とんど11基」について実地調査や聴き取り調査を行うとともに、関連する著書等を参考として取りまとめを行った。</p> <p>併せて、既に発刊した3冊と合冊し、「ふるさと御津の歴史—先人の足跡—」と題した総合冊子を刊行し、小中学校・自治会・老人会や市立図書館等に寄贈することで地域財産の伝承と文化意識の向上の一翼を担いたい。</p> <p>また、市立御津図書館の事業（「岩見地区歴史散歩事業」）とタイアップし、歴史に興味のある方を募集して岩見地区内の春日神社・西念寺・観音寺等を巡り、講師として起源や歴史的背景などを説明し、地域財産の伝承に寄与した。</p>				
<p>事業経過</p>		<p>場 所</p>	<p>事 業 内 容</p>	<p>参加者数</p>	<p>スタッフ数</p>
<p>令和4年 7月1日</p>	<p>春日神社境内</p>	<p>伊津地区皇神まつりにおいて、播磨国風土記や皇神まつりの由来について説明</p>	<p>20</p>	<p>2</p>	
<p>7月7日</p>	<p>釜屋地区 朝臣地区</p>	<p>活動方針の決定及び現地調査（釜屋地区・朝臣地区の顕彰碑等）</p>		<p>10</p>	
<p>7月19日</p>	<p>御津公民館</p>	<p>現地調査個所文書作成</p>		<p>8</p>	

事業経過	7月31日	中島地区 碓岩地区	現地調査（中島地区・碓岩地区の 顕彰碑等）		7
	8月31日	御津公民館 苅屋地区	現地調査（苅屋地区）、調査個所文 書作成		7
	9月9日	御津公民館	御津公民館において調査資料読み 合わせ		7
	9月14日	中島地区	現地調査（梶山城・小丸山古墳）		10
	9月29日	御津公民館	調査物件に係る検討会		7
	10月14日	御津公民館	御津公民館における「歴史講座」 受講		6
	10月19日	黒崎地区 岩見地区	現地調査（黒崎地区・岩見地区の 顕彰碑等）		7
	10月31日	御津地域内 土地改良区	現地調査（御津地域内土地改良区 各所の記念碑等）		3
	11月12日	御津図書館	冊子の作成に係る文書・掲載写真 の検討		8
	11月23日	春日神社・ 西念寺・観 音寺	御津図書館の事業（「岩見地区歴史 散歩事業」）における講師として地 区内の寺社について説明	25	6
	令和5年 1月12日	碓岩地区 御津地域内 全域	現地調査（碓岩地区顕彰碑等再確 認・御津地域内各所のとんど確認）		6
	随時		冊子の作成に向けた原稿作成、推 敲、印刷に当たったの打合せ		

令和4年11月12日 御津図書館で勉強会



令和4年11月23日 岩見地区歴史散歩講師



令和5年1月12日 碓岩地区顕彰碑調査



令和5年1月12日 碓岩地区とんど調査



協働の相手方	<p>たつの市教育委員会社会教育課御津図書館 御津地域内各自治会 春日神社・西念寺・観音寺</p>
今後の展望	<p>今後も継続して御津図書館の事業である「ふるさと散歩事業」における講師や、御津小学校児童を対象とした「地区の歴史講座」の講師等の活動を継続していく。引き続き御津地域内に伝わる伝統文化・顕彰碑や記念碑等について、先人の功績を称え、後世に引き継ぐべく講師活動や活字化・資料の保存等の活動を継続したい。</p>

『花鳥風月』～ひとこまをつなぐ～

所在：たつの市
代表：石井 靖敏

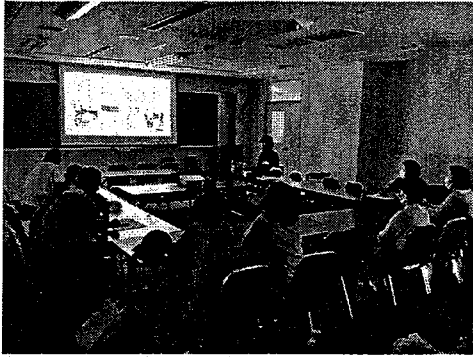
<p>目的</p>	<p>たつの市新宮地区において、少子高齢化・若者の町外流失などにより、地域のあらゆる活動の担い手が不足していることや、特に地域の魅力作りや深掘りまたそれらの情報発信が不足していること、まちに関わる若い世代の『故郷愛・誇り・愛着』などの【シビックプライド】が減退していることなどが現状・課題として挙げられる。</p> <p>それらに対応していくためには、地域全体で関わり合いを複合的かつ立体的に増やす必要があると考える。地域全域で幅広い世代の人材を活用した、まちの『ハブ的な』役割を担うプラットフォームを構築していく事で、地域や人をつなぎあわせていく存在を作り出していきたい。そして、地域全体をつなぎ、情報を集約・発信・共有し、まちの様々な関わり合いを増やしていく活動に発展させたい。まちの地域資源や魅力を再認識しその情報を効果的に地域内外の方に広く発信していく事や新たな魅力を作り出していく。そのような役割を担う人材を生み出しながら、これまでの縦のつながりによる活動に加えて、特技や趣味などのように横でつながるネットワークを活かした地域活動を展開することで担い手不足を解決していきたい。</p> <p>今回は、写真というツールを使い、写真で地域をつなぐ活動として、地域住民を様々なかたちでつなぎ合わせて、みんなでまちの魅力を深掘りしていきながら、情報発信や地域住民にその素晴らしさを伝えていく。それにより、地域を横断するつながりを作り出し、魅力作りや情報発信における人材を作り上げ、担い手を増やしていけると考える。加えて、コロナ禍であっても、地域と人をつなぎ合わせ交流を持続させていく効果も期待できる。</p>
<p>事業内容</p>	<p>『花鳥風月』～ひとこまをつなぐ～</p> <p>写真で地域をつなぐ活動『ひとこま』を展開し、昨年度できたつながりを大切にしながら、まちの美しい景色や自然だけでなくイベントや地場産業などをも含めてたつの市の魅力として広く情報発信していく事業を実施。</p> <p>今年度は、地域を新宮町から少し広げ、たつの市全域でこの活動を進めていく予定であったが、いまだコロナの影響も残っており、大人数で他地域に移動することに抵抗があったため、地元新宮町のイベントを中心に活動した。ただ、今後の事も考慮に入れ、たつの市内全域で活動できるように、地道につながりを増やしながらかつ活動の説明を続け、広く理解していただけるよう努めた。来年度こそはこのつながりを活かし、地場産業・特産品・観光スポット・イベントなどの情報発信を市民の力でさらに活発にしていきたい。</p> <p>また、たつの市社会福祉協議会新宮支部との連携により、高齢者に宅配されるお弁当に、ふるさとの素敵な風景を撮影した写真を添えて見守り活動につなげる活動を実施した。日頃からボランティア活動されている方や写真を趣味に活動されている方などと共に、新宮町のまちなかを散歩しながらその風景を写真におさめて高齢者の方にお配りすることで、素敵な風景を懐かしく思い出していただいたり、写真による新たなつながりを生み出す活動が出来た。今後も継続的に実施し、地域のつながりづくりや新たな見守り活動などに事業展開していきたい。</p>

事業内容	<p>今年度さまざまな活動の中で創り上げた作品を一堂に集めた『まちなか写真展』を3月12日に開催される『新宮ふるさと祭り』の会場内で同時開催する予定で準備中。【新宮地域の歴史を紡ぐ】をテーマに、未来に残したい新宮の『ひとこま』と歴史を感じさせる風景の『ひとこま』を演劇でつなぎ合わせて、写真と演劇のコラボ企画を実施し、新しいカタチの展示に挑戦したいと考えている。その後会場内(宮内遺跡公園内)で展示し、後日、新宮総合支所でも展示する予定で進めている。</p> <p>今後も、行政や地域団体、経済・観光関連団体、学校などとも協働しながら、地域の魅力づくりを行う『シティプロモーション事業』を継続して取り組んでいきたい。</p>				
地域	たつの市				
事業の効果	<p>『写真』『映像・動画』『情報発信』というツールによって【タテヨコナナメ】さまざまなつながりが生まれた。そこに人と人の交流が加わることによりさらに地域の魅力に深みが増したと感じる。</p> <p>協働・共創・協力など共に地域を盛り立てたり、発信したり、共有することでまちの魅力を再確認出来たり、他の方の活動に共感が生まれたりと素晴らしい相乗効果を得られた。今年度の関わりが膨らみを増しさらに発展していく可能性を強く感じる。</p>				
事業経過		場 所	事 業 内 容	参加者数	スタッフ数
	5/15(日)	新宮総合支所	『しんぐう☆こども王国』のイベント風景を撮影。 SNSでの発信やインタビューを実施。	8名	5名
	6/26(日)	新宮公民館	『しんぐう☆まちブラ歩きフォトレッスン』を実施。 講師：上吉川祐一先生 新宮フォト倶楽部のメンバーさんや社協のボランティア協会のメンバーさん等が参加して、新宮八幡神社での『あじさい祭り』や周辺地域でのまち歩き撮影講座。	10名	3名
	7/30(土)	新宮総合支所	『しんぐう☆ナイト』のイベント風景を撮影。 SNSでの発信やインタビューを実施。	15名	5名
	10/20(木)	新宮ふれあい福祉会館	たつの市社会福祉協議会新宮支部、たつの市、協議体のメンバーの方々と見守り活動について意見交換会。(実施する内容や日程調整など)。『新宮の風景を撮影してその写真を宅配弁当に添える事業』について。	12名	1名

事業経過	11/9(水)	新宮公民館～志んぐ荘、東山公園	見守り活動の一環で【まちさんぼ】をテーマに新宮の風景を撮影し、その写真を一人暮らしの宅配お弁当サービスに添える事業を実施。 その撮影会を実施。※社会福祉協議会のご協力により協議体のメンバーさんやボランティア協会の方、地元中学校の生徒たちとまち歩きをして、秋の紅葉風景を撮影。【新宮公民館～東山公園】	18名	2名
	11/25(金)	ふれあい福祉会館	みんなで撮った写真を共有し、高齢者にお配りするのに良い作品を選択する会を開催。	10名	1名
	10/23 10/30 12/4 12/11	新宮町内の農園	たつの赤とんぼクラブ(たつの市内の農家さんのグループ)の食育チームと連携して農家体験イベントを実施。その風景を撮影して共有し、共に情報発信に取り組んだ。	10名	5名
	12/18(日)	新宮総合支所	『しんぐう謎解きミステリー』『しんぐう☆ファンタジーナイト』のイベント風景を撮影。 SNSでの発信やインタビューを実施。 今回は、動画の撮影も行いイベントの情報発信や振り返りに活用。	12名	8名
	3/12(日) 実施予定	新宮宮内遺跡 弥生の森遺跡公園	『まちなか写真展』を新宮ふるさと祭りの同時開催で実施予定。 テーマを『地域の歴史を紡ぐ』とし、写真と演劇のコラボ企画を考えて、より多くの方に観覧いただけるように準備中。 ステージで写真を使った演劇を披露し、その後会場内に展示。イベント終了後に新宮総合支所に展示する予定。	15名 程度	10名 程度

6/26 (日)

『しんぐら☆まちブラ歩きフォトレッスン』
上吉川祐一先生の写真講座



10/30 (日)

『農家体験』で撮影風景



※町内で行われるイベントにて撮影や取材
を実施し、多様な交流を生み出し、地域の
魅力発信などに取り組んだ。

11/9 (水)

まちさんぽ撮影会



10/20 (木)

社協さんと協働で会議を開催。
実施事業の内容や開催日などを検討



協働の相手方	たつの市役所（新宮総合支所）、 龍野北高校写真部、 たつの赤とんぼクラブ食育チーム、 ダイセル労働組合、 たつの市社会福祉協議会新宮支部 新宮フォト倶楽部 わくわくプロジェクト 新宮ふるさと祭り実行委員会
今後の展望	さらなる『シティプロモーション事業』に発展させるために、活動範囲を少しずつ拡大しながら、地場産業・特産品・観光スポットなどの分野についても協働先を増やしていきたい。そして、共感してくださった団体や組織、個人などをそれぞれつなぎ合わせて、ネットワークを作り、自立するカタチにしていきたい。

中井地区魅力ある歴史発信事業

所在：たつの市
代表：寺田 和正

<p>目的</p>	<p>[地域の現状] 中井自治会はたつの市内に於いて歴史の古い地域であり史跡等が沢山ある。歴史に詳しい数人には知られているが、当自治会内に於いては殆ど知られておりません。言い換えれば当自治会惹いては小宅地区の宝の持ち腐れとなっていると言っても過言ではない。また、高度成長以降豊かな生活に入り、生まれ故郷の歴史等に関心のある人達が減少し、当自治会に対する愛着心が希薄化して来ていると思われる。</p> <p>[地域の課題] 自治会内に於いて史跡・伝説について周知されていない。その要因は自治会内に史跡専門家・歴史に興味のある人・史跡等の説明表示板がないことが課題と言える。</p> <p>[解決方法] 中井地区に詳しい人・特定写真家・歴史に関心のある人材・パソコン技術を熟知し、パンフレット編集に優れた人を発掘し、役割分担を決め事業活動を推進して行く。また、史跡・伝説場所等の探訪を行ないながら人との絆を深めて行く。この結果を受けてパンフレットや冊子を編集し老人会会員に配布する。史跡等の説明看板設置は予算の関係上令和5年度にする。</p>
<p>事業内容</p>	<p>5月老人会役員会において、中井地区の史跡・伝説内容等の歴史資料を説明し、老人会活動として地域づくり活動応援事業に応募する事を決定しました。</p> <p>7月、助成金の交付決定に基づき、歴史散策マップの作成と出前講座・歴史探訪を事業活動とした。その後、歴史資料探索として龍野図書館・埋蔵文化財センター等に出向き資料確認。また、小宅地区の歴史に詳しい専門家に資料提供をお願いして既存の資料を修正し、その結果を8月下旬たつの市歴史専門家に検証して戴いた。</p> <p>これを受けて歴史散策マップ用記事の作成・編集を行った。9月に約40箇所の史跡・伝説場所等を写真撮影し、10数回の校正後、「中井歴史探訪・中井の散策マップ」(以下「探訪・散策マップ」とする。)の印刷を完了した。</p> <p>以降11月下旬から12月中旬に架けて中井老人会会員を初めとしコミセン小宅関係者・小宅地区連合老人会長等にも探訪・散策マップによる出前講座を行った。</p> <p>中井老人会員を対象にした探訪・散策マップによるウォーキングも当初目的どおり実施する事が出来た。</p>
<p>事業の効果</p>	<p>出前講座を通して今までと違った協調性や人と人との絆を深めることが可能となった。中井老人会員の皆さん・コミセン小宅関係者・小宅連合老人会長から、探訪・散策マップの内容を見聞した感想として、多くの方が史跡・伝説場所の多さに感嘆され、中井歴史について興味を持って戴いたと確信した。12月11日、中井老人会会員を対象に散策ウォーキングを実施した結果、改めて中井地区の歴史を再認識されたと感じた。また、老人会会員の子供さんが結婚等で他所に住んで居られる方にも探訪・散策マップを配布したところ大変喜ばれた。これに伴い新たに故郷の良さを感じ入って戴いたのではないかと思う。このほか、たつの市観光協会ボランティアから、歴史マップを活用させて欲しいとの依頼を受けた。小宅連合老人会長会では、高齢者として地域に何かを残す活動が大切ではないかとの意見も出された。</p> <p>今回の出前講座・ウォーキングを通して非常に感謝されそれなりの成果を得て、地域づくり活動に寄与できたと確信した。</p>

	月 日	場 所	事 業 内 容	参加者数	スタッフ数
事業経過	5月29日	中井公民館	老人会役員会地域づくり事業計画 応募とプレゼン発表内容の検討	15名	3名
	6月13日	たつの市役所	地域づくり活動支援応募について	3名	2名
	6月21日	自宅	プレゼン用歴史マップ作成。	5名	3名
	7月5日	印刷業者	見積もり見直し打ち合わせ	3名	2名
	7月13日	県民局	事業記録・写真等について相談	2名	1名
	7月21日	公民館	歴史家に資料内容について確認	1名	3名
	7月23日	ふれあい広場	歴史家に資料内容確認依頼	1名	2名
	7月26日	歴史家宅	歴史資料内容修正	1名	1名
	8月4日	新宮分庁舎	歴史専門家に歴史資料内容精査依頼	1名	1名
	8月10日	山村家	山村家長男に歴史資料内容確認	1名	2名
	8月22日	新宮分庁舎	歴史専門家に歴史資料内容精査の確認	1名	2名
	8月25日	自宅	探訪マップ説明記事作成	2名	4名
	8月28日	太子歴史資料館	御手洗の水争い歴史確認	2名	1名
	9月2日	自宅	印刷業者と歴史マップレイアウト 相談	2名	3名
	9月26日	自治会内	歴史マップ箇所写真撮影	2名	2名
	9月28日	小宅コミセン	歴史マップ写真整理	2名	2名
	9月29日	同上	同上	2名	2名
	9月30日	自宅	印刷業者と記事と写真との整合に ついての確認	3名	3名
	10月3日	新宮分庁舎	中井廃寺窯跡資料確認	1名	1名
	10月7日	自治会内	写真撮影の取り直し	1名	2名
10月8日	歴史家宅	史跡場所確認	1名	1名	
10月12日	自宅	印刷業者歴史マップレイアウト確認	2名	2名	

	月 日	場 所	事 業 内 容	参加者数	スタッフ数
事業経過	10月13日	自治会内	写真撮影の取り直し	1名	2名
	10月16日	自宅	印刷業者と歴史マップ記事内容確認	2名	2名
	10月25日	自宅	同上	2名	2名
	10月27日	自宅	古代山陽道場所ネット確認		1名
		龍野図書館	同上		1名
	10月31日	印刷業者	歴史マップ内容確認	2名	2名
		たつの市役所	歴史マップ地図引用確認	4名	1名
	11月7日	県民局	歴史マップ全体について相談	3名	1名
	11月9日	自宅	印刷業者と歴史マップ記事確認	2名	2名
	11月15日	自宅	印刷会社歴史マップ記事内容確認	2名	2名
	11月21日	自宅	同上最終確認&印刷依頼	2名	2名
	11月25日	自宅	印刷業者より印刷物受け取り	3名	2名
	11月26日	中井公民館	老人会役員会への出前講座	13名	3名
	11月27日	同上	亥の子祭りにて老人会会員への出前講座行う	44名	5名
		中井地区内	欠席者へ歴史マップ配布		8名
	11月28日 ～ 29日	同上	老人会会員宅から結婚等で他所に住んでおられる方への歴史マップ配布依頼	21軒	8名
	12月3日	本竜野駅広場	コミセン小宅・編集委員等に出前講座	11名	2名
	12月4日	元小宅小学校 長宅	小宅連合自治会長時の小宅小学校長・教頭に出前講座	2名	1名
12月7日	コミセン小宅	小宅連合老人会長・コミセン革工房部員に出前講座	19名	1名	
12月9日	霞城館	小宅連合自治会長時の小宅小学校長・館員に出前講座	3名	1名	
12月11日	中井地区内	中井老人会員を対象に歴史マップによる散策ウォーキング実施	29名	11名	

令和4年11月26日



出前講座（中井老人会役員）

令和4年11月27日



出前講座（中井老人会）

令和4年12月11日



散策ウォーキング（中井老人会）

令和4年12月11日



散策ウォーキング（中井老人会）

<p>協働の 相手方</p>	
<p>今後の展望</p>	<p>今年度事業について、当初予定していた内容が予算的に非常に苦しく、大幅に削減されパンフレット編集は出来なかったが、関係各所の協力により中井歴史探訪&中井の散策マップが完成した。 中井老人会員を中心に「コミセン小宅」で活躍されておられる関係者・小宅地区連合老人会長・中井子供会・PTA会員等にも出前講座を行うことが出来た。 また、中井老人会員を対象に散策ウォーキングも実施した。 今後、中井自治会員等にも出前講座・散策マップによるウォーキングを実施して行きたい。更に小宅公民館・「コミセン小宅」・歴史資料館等に中井歴史探訪&散策マップを置き、小宅住民・観光客にPRを行って行く。 来年度、「中井地区魅力ある歴史発信事業」の第2弾として冊子を編集し、併せて散策マップ看板を製作・掲示し、更に地域づくり活動に寄与したい。</p>

菖蒲谷村の遺構を保存する会

若者と語る菖蒲谷の歴史と自然

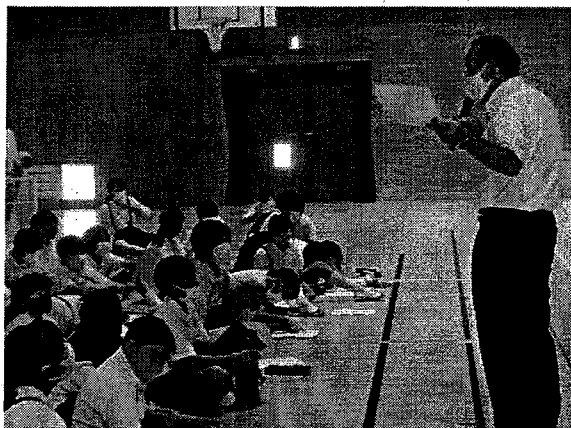
所在：たつの市
代表：宮本 俊郎

目的	<p>たつの市揖西町新宮地域の廃村・菖蒲谷村跡を整備し、訪問者への案内を充実させる。若者を菖蒲谷村跡に招く事業を行い、若い人達に菖蒲谷の魅力を知ってもらうことによって、保存活動を持続可能なものにするともに、新宮地域の盛り上がり、活性化につなげたい。</p>
事業内容	<p>① 廃村の歴史や伝説・概要等を記した説明板を設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃村菖蒲谷村の歴史、伝説、遺構、村人の暮らし、昭和期の写真等を入れた説明板を製作した。 ・大きさは横約 1.8m、縦約 1 mで、村跡中心部の訪問者がよく見える位置に固定した。 <p>② たつの市立揖西西小学校 6 年生の「総合学習（地域学習）」への協力、支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 6 年生の「総合学習」で、児童から菖蒲谷村について学びたいという声があがっていることを聞き、小学校を訪問して菖蒲谷村の歴史や伝説、村人の暮らしについて紹介し、交流した。 ・二学期には 6 年生児童 48 名を菖蒲谷村跡へ案内した。村跡や棚田などの遺構を見せたり、高地にある池に伝わっている伝説を聞かせたりして、児童のフィールドワークを支援した。 <p>③ 山道整備並びに県立山の学校と連携した村跡の景観整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村跡の景観保存のための山道整備、樹木の伐採、道路通行の障害となる雑木の伐採などを行った。 ・伐採、製材してもらった杉材を活用して、ベンチを製作し設置した。また木切れを活用した階段も製作し、村跡中心部に見学、休息ができる空間を作った。 <p>④ 花菖蒲を村の中心部付近に植えた</p> <p>菖蒲谷の名前の由来の一説と考えられる「花菖蒲」の株を植え、防獣ネット、金網で囲った。</p>
地域	<p>たつの市揖西町新宮地域はのどかな田園地帯で、地域北部は菖蒲谷の山々がそびえ、豊かな自然をもつ森林公園があるほか、奥地に伝説が多く残る廃村・菖蒲谷村の遺構がある。時代の流れとともに、新宮地域にも少子高齢化の波が押し寄せ、若者の地元離れにより過疎化が徐々に進行している。このような中、菖蒲谷一帯は歴史・自然両面から貴重な財産であり、菖蒲谷一帯を活用することは活性化のために有効である。ここ数年、市民の菖蒲谷への認知度、関心は高まっており、今後の発展と持続可能な取組を目指し、若者に焦点を当てた事業を中心に計画、実施した。</p>
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・村跡中心部に説明板を設置し、そばにベンチを設置したことで、ハイカー達が休憩しながら棚田や村の遺構を理解し、楽しむ空間になった。その後、たつの市主催のウォーキングイベントが開催され（参加者総数約 70 名）、説明板、ベンチともに大変好評で、参加者には印象深い場所となった。 ・菖蒲谷の歴史、自然というテーマを通じて、たつの市立揖西西小学校 6 年生と本会会員の交流ができた。また、バスを使って村跡を訪ね、子どもたちに直接廃村の様子を見てもらうことができた。 ・小学生から自然発生的に生まれた菖蒲谷の学習ニーズに応えることができ、小学生からは地域について学ぶ意欲や地域の歴史を守りたい気持ち、地域への誇りなどが芽生えてきたようである。子どもたちが書いたレポート（文集）にそのことがよく現れていた。 ・小学校側からは、次年度も菖蒲谷についての学習を継続したいという声が出てい

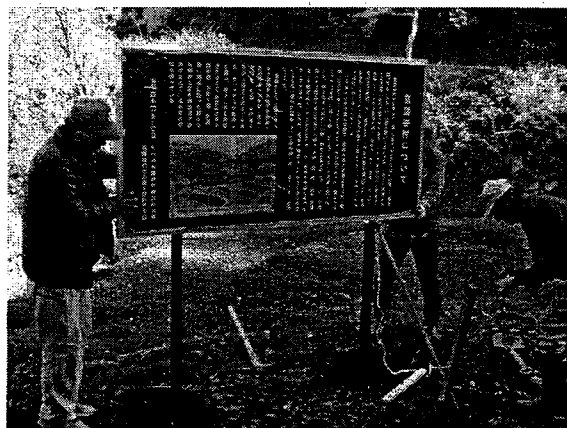
る。また、菖蒲谷村の遺構の保存に加わりたいという児童の声も聞かれた。うれしい限りである。

- ・子どもたちの学びがその家族や地域の大人たちにも伝わっているようである。子どもたちを中心に地域での話題が増えた。
- ・県立山の学校生徒の協力により村跡の遺構が一層整備された。あわせて山の学校生徒達に菖蒲谷村の歴史を知ってもらえた。
- ・菖蒲谷には広葉樹や針葉樹など多様な樹木が生息しており、多様な伐採技術が体験できる。本会と山の学校との連携事業を通じて、今後、山の学校の効果的な体験プログラムが組めるようである。このことは、連携が継続できる可能性があり、双方にとってメリットであると考える。
- ・山道が整備できたことでハイカーの安全が確保され、遺構を間近で楽しめるようになった。花菖蒲が咲けば、訪れるハイカー達にとって、一層歴史と自然を満喫できる印象深いスポットとなる。

	月 日	場 所	事 業 内 容	参加者数	スタッフ数
事業経過		揖西コミセン	本年度事業実施打合せ	8名	8名
	6月21日	兵庫県立山の学校	本年度菖蒲谷整備の内容打合せ	5名	2名
	6月19日	西播磨県民局	プレゼンテーション	2名	2名
	7月1日	揖西西小学校	菖蒲谷村の歴史 (総合学習・地域学習)	53名	3名
	9月9日	揖西コミセン	高齢者教室講演(たつの市主催) 菖蒲谷の歴史	70名	1名
	11月9日	揖西西小学校	菖蒲谷村フィールドワーク授業打合せ	6名	3名
	11月11日	西播磨文化会館	西播磨高齢者文化大学講演 (県立西播磨文化会館主催)	45名	1名
	11月20日	菖蒲谷村跡 周辺	菖蒲谷村跡の山道工事	6名	1名
	11月22日	菖蒲谷村跡 周辺	村跡周辺の草刈り等整備作業	5名	5名
	11月27日	菖蒲谷村跡 中心部	説明看板の設置作業	6名	6名
	11月27日	西播磨文化会館	西播磨フェスティバル展示発表	1名	1名
	11月30日	菖蒲谷村跡 車池	菖蒲谷村跡フィールドワーク (揖西西小学校)	56名	5名
	12月7日	菖蒲谷一円	ウォーキングコースの安全点検・整備	2名	2名
	12月9日	菖蒲谷村跡 中心部	県立山の学校と合同整備作業 ベンチ製作・設置	13名	4名
	12月11日	菖蒲谷一円	ウォーキングイベント(たつの市主催)	72名	6名
12月21日	菖蒲谷村跡 中心部	県立山の学校と合同整備作業 階段設置	13名	4名	



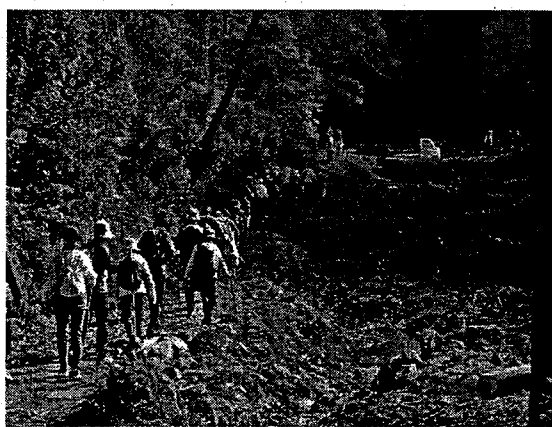
揖西小学校の総合学習に参加（7月1日）



菖蒲谷村説明板の設置作業（11月27日）



車池を前に、伝説に聞き入る子どもたち（11月30日）



山道が整備され、棚田を見ながら歩く（12月11日）

<p style="writing-mode: vertical-rl;">協働の相手方</p>	<p>【たつの市揖西町新宮自治会】 小学生が菖蒲谷に関心を深めたことが、地域の大人たちにも伝わり、地域全体の菖蒲谷に対する関心度が上がっている。菖蒲谷の整備に新たに参加する方が出てきた。今後さらなる盛り上がり、活性化に期待したい。</p> <p>【たつの市立揖西小学校】 子どもたちは菖蒲谷の教育資源（豊かな自然、歴史など）を活用した探求活動を行いながら、ふるさとの良さを発見・再認識し地域を誇れる心をもつことができた。「菖蒲谷村の遺構を保存する会」の会員が地域の宝を大切にし、未来に残していこうと活動する姿を間近で見て、自分たちも学びを生かしながら地域社会を良くしていこうという思いをもち、地域の良さを「発信する」力が身についた。学校として次年度もこの学びを引き継いでいきたい。</p> <p>【兵庫県立山の学校】 生徒は整備活動を通して地域貢献という貴重な体験ができた。菖蒲谷の整備では、広葉樹、針葉樹など多様な樹木の伐採が体験できるので、生徒の技量に応じた効果的な技術習得プログラムを組むことができた。できれば今後継続して菖蒲谷の整備に取り組みたい。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生対象の地域教材として、学校の諸教育活動で活用してもらう方法を、本会としても研究する。 ・現在、兵庫県西播磨県民局が進めている山城プロジェクトと関連させた事業や活用について、研究したい。城山城へは菖蒲谷から容易、安全なルートで歩くことができる。また城山城と感状山城、両城のちょうど中間あたりに菖蒲谷村跡が位置している。 ・菖蒲谷の自然や歴史の記録、資料をCD化し市内各所に流布する。 ・小学校児童親子の参加できるイベントや保存・整備事業を考え、さらに広報活動を進めていきたい。 ・花菖蒲の庭づくりをさらに継続し、花が咲き乱れるスポットにしたい。

特定非営利活動法人 しそう夢鉄道

鉄道のない町宍粟市を鉄道模型で地域活性

所在：宍粟市
代表：小寺 一成

目的	<p>〔地域の現状〕 人口の減少、高齢化で町のにぎわいが減少し若者が少ない。観光資源として運営していた場所が閉鎖になるなど、季節ごとの集客にも限界があるが、近年ではまちおこしのリノベーション物件や特徴的なレストランなども増えつつあり、森林セラピーなど山と自然の活用にも取り組んでいる。現在コロナ渦で活動低迷中である。</p> <p>〔地域の課題〕 新しい取り組み、魅力的な地域資源が存在するが、地域を超えた広がりにつなげていない。</p> <p>〔解決方法〕 異業種、幅広い年齢層、地域を超えた思いきった連携や事業の工夫が必要である。この度町おこしを目的としたリノベーション物件で鉄道模型交流館【しそう夢鉄道】を開館し、NPO 法人として宍粟市のにぎわい創出に貢献したいと思う。また鉄道模型に特化することで、余暇と趣味を活用した新しいボランティアの形を提案することで、関わる人のすそ野を広げたい。</p>
内容	<p>NPO 法人しそう夢鉄道を設立し、場所もまちおこしのためのリノベーション物件に移行し2期目の活動です。土日祝日開館と適時のイベント等を行いながら、ジオラマレイアウトや施設を充実させる作業等を行ってきました。</p> <p>地域やテレビ局・マスコミ等の協力も得て少しずつ知名度アップし、来館者も昨年度よりも増えてきました。11月には西播磨文化会館の行事にも出張参加させていただきました。地域のより多くの方々に鉄道模型ジオラマの魅力を発信できました。開館・イベント等を通して、子供たちの健全育成や町の賑わいの一助に貢献できていると思います。</p>
地域	<p>今後とも宍粟市を中心に西播・兵庫県そして日本全国から世界へとPRし、より多くの集客と地域活性化につなげていきたいです。</p>
事業の効果	<p>コロナがなかなか収束せず、徐々に世間全体の行動は活発化しているものの、まだまだ団体利用の集客においては苦戦しています。</p> <p>地元の情報誌やメディア、企業の協力を得て、地域の方々をはじめ県内外の方々への認知度は徐々にアップし、イベント等を通して青少年育成と町の賑わい創出に貢献できたと思います。</p> <p>施設の設備等も少しずつ充実してきており、コロナを気にせずに動けるようになってからの活性化により期待していきたいです。</p>

	日時	場 所	内 容	参加者数	スタッフ数
事業経過	4/2	しそう夢鉄道	開館	9	3
	4/3	しそう夢鉄道	開館	17	5
	4/9	しそう夢鉄道	開館	8	4
	4/10	しそう夢鉄道	開館	3	3
	4/16	しそう夢鉄道	開館	6	4

事業経過	4/17	しそう夢鉄道	開館 会議：GM 開館日とイベント・踏切作業計画・会費・総会準備	7	13
	4/23	しそう夢鉄道	開館 イベント準備	17	2
	4/24	しそう夢鉄道	開館 イベント準備	6	5
	4/29	しそう夢鉄道	開館 イベント『こどもまつり』	14	9
	4/30	しそう夢鉄道	開館 イベント『こどもまつり』	21	7
	5/1	しそう夢鉄道	開館 イベント『こどもまつり』	26	7
	5/3	しそう夢鉄道	開館 イベント『こどもまつり』	23	9
	5/4	しそう夢鉄道	開館 イベント『こどもまつり』	25	6
	5/5	しそう夢鉄道	開館 イベント『こどもまつり』	18	7
	5/7	しそう夢鉄道	開館 イベント『こどもまつり』	15	4
	5/8	しそう夢鉄道	開館 イベント『こどもまつり』	8	5
	5/14	しそう夢鉄道	開館	10	3
	5/15	しそう夢鉄道	開館 総会案内送付	4	2
	5/16	しそう夢鉄道	開館 夏休みジオラマ教室材料打ち合わせ	4	2
	5/21	しそう夢鉄道	開館 中庭草引き	2	3
	5/28	しそう夢鉄道	開館 中庭草引き 電気配線	8	5
	5/29	しそう夢鉄道	開館 令和4年度通常総会・理事会	8	10
	5/31	しそう夢鉄道	法人賛助会員様見学	7	2
	6/4	しそう夢鉄道	開館 『しそう子ども食堂見学会』招待	41	4
	6/5	しそう夢鉄道	開館	8	4
	6/11	しそう夢鉄道	開館	11	3
	6/12	しそう夢鉄道	開館	8	6
	6/18	しそう夢鉄道	開館	11	2
	6/19	しそう夢鉄道	開館 会議：夏休みイベント・盆会館日・中庭作業計画について	7	10
	6/25	しそう夢鉄道	開館	2	4
	6/26	しそう夢鉄道	開館 西播磨助成金プレゼン	15	5
	7/2	しそう夢鉄道	開館 裏庭踏切作業	3	5
	7/3	しそう夢鉄道	開館	9	4
	7/9	しそう夢鉄道	開館	18	2
	7/10	しそう夢鉄道	開館 裏庭踏切作業	7	7
	7/16	しそう夢鉄道	開館 裏庭踏切作業、雨漏り修理	6	4
7/17	しそう夢鉄道	開館 裏庭踏切作業	5	4	
7/18	しそう夢鉄道	開館	3	4	
7/23	しそう夢鉄道	開館 裏庭踏切作業	2	7	
7/24	しそう夢鉄道	開館	14	4	
7/28	しそう夢鉄道	NHK 取材	3	3	
7/30	しそう夢鉄道	開館	6	3	
7/31	しそう夢鉄道	開館	31	5	

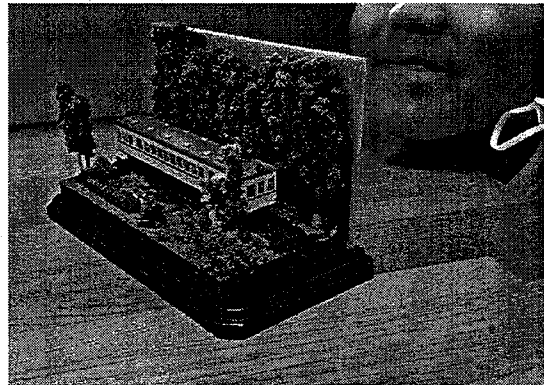
事業経過	8/6	しそ夢鉄道	開館		21	4
	8/7	しそ夢鉄道	開館	イベント『夏休み親子ジオラマ教室』	29	9
	8/11	しそ夢鉄道	開館	イベント『夏休み親子ジオラマ体験』	17	8
	8/12	しそ夢鉄道	開館	イベント『夏休み親子ジオラマ体験』	10	6
	8/13	しそ夢鉄道	開館	イベント『夏休み親子ジオラマ体験』	22	6
	8/14	しそ夢鉄道	開館	イベント『チラシではがきをつくらう』	30	5
	8/20	しそ夢鉄道	開館		23	5
	8/21	しそ夢鉄道	開館		18	6
	8/26	しそ夢鉄道		播磨リビング取材	2	2
	8/27	しそ夢鉄道	開館		14	3
	8/28	しそ夢鉄道	開館	青木さん YouTube 取材	24	6
	9/3	しそ夢鉄道	開館	裏庭片付け、草引き	6	5
	9/4	しそ夢鉄道	開館	裏庭片付け、草引き	13	5
	9/5	しそ夢鉄道	開館	せやねん！スマイル工務店 収録	25	7
	9/10	しそ夢鉄道	開館	裏庭片付け、作業	17	5
	9/11	しそ夢鉄道	開館	裏庭片付け、作業	12	5
	9/15	しそ夢鉄道		裏庭片付け、人工芝作業	0	2
	9/16	しそ夢鉄道		裏庭片付け、人工芝作業	0	2
	9/17	しそ夢鉄道	開館		21	3
	9/18	しそ夢鉄道	開館		27	7
	9/23	しそ夢鉄道	開館		63	4
	9/24	しそ夢鉄道	開館		41	5
	9/25	しそ夢鉄道	開館		81	8
	10/1	しそ夢鉄道	開館		26	4
	10/2	しそ夢鉄道	開館		31	6
	10/8	しそ夢鉄道	開館	裏庭踏切電気配線作業、電車屋根補強、芝はり	24	6
	10/9	しそ夢鉄道	開館		21	4
	10/10	しそ夢鉄道	開館		34	5
	10/13	しそ夢鉄道		法人賛助会員様見学	3	1
	10/15	しそ夢鉄道	開館	倉庫片付け	12	5
	10/16	しそ夢鉄道	開館	遮断機踏切配線	23	5
10/19	しそ夢鉄道		倉庫廃棄物片付け処理		2	
10/22	しそ夢鉄道	開館		11	4	
10/23	しそ夢鉄道	開館		15	6	
10/29	しそ夢鉄道	開館		35	4	
10/30	しそ夢鉄道	開館	イベント『鉄道模型入門教室』	30	6	
11/2	しそ夢鉄道		倉庫廃棄物片付け処理		2	
11/3	しそ夢鉄道	開館		8	3	

事業経過	11/5	しそう夢鉄道	開館	12	3
	11/6	しそう夢鉄道	開館	29	5
	11/12	しそう夢鉄道	開館	19	4
	11/13	しそう夢鉄道	開館 イベントレイアウト整備	14	4
	11/19	しそう夢鉄道	開館 イベントレイアウト整備	33	4
	1/20	しそう夢鉄道	開館	17	4
	11/23	しそう夢鉄道	開館	15	4
	11/26	しそう夢鉄道	開館 西播磨ふるさと文化祭 イベント準備	23	10
	11/27	西播磨文化会館	西播磨ふるさと文化祭 イベント	270	9
	12/3	しそう夢鉄道	開館	9	4
	12/4	しそう夢鉄道	開館	21	3
	12/10	しそう夢鉄道	開館		3
	12/11	しそう夢鉄道	開館		6
	12/17	しそう夢鉄道	開館	10	5
	12/18	しそう夢鉄道	開館	6	5
	12/24	しそう夢鉄道	開館	7	2
	12/25	しそう夢鉄道	開館	10	6

4/29~5/8 こどもまつり



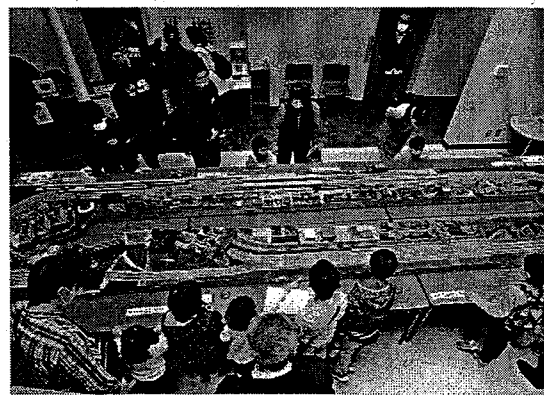
8/7 夏休み親子ジオラマ体験教室



9/5 せやねん! スマイル工務店収録



11/27 西播磨ふるさと文化祭



協働の相手方	よいまちプロジェクト(山崎中心市街地活性化委員会) 宍粟市 西播磨文化会館
今後の展望	鉄道模型出張イベントを増やしていきたい。 また、鉄道模型関連団体等にPRして団体利用をもっと増やしていきたい。 施設の整備にも力を入れ、地域に密着したイベント等を行っていき、地域との繋がりをより深めたいです。

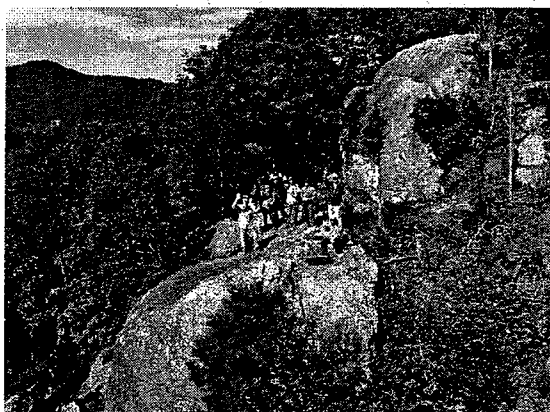
「塩・塩廻船のまち播州赤穂」深堀ジオ観光プログラム開発

所在：赤穂市
代表：門田 守弘

目的	<p>赤穂の観光資源である塩、北前船（塩廻船）、赤穂城等とジオの関係に着目し、なぜ日本第一の塩の産地と成り得たのか、北前船寄港地・坂越浦がなぜ栄えたのか、赤穂コールドロンの見どころ等、赤穂の塩・塩廻船のゆかりの町やジオの魅力を楽しめる深堀型の観光プログラム開発を3年計画で行う。（今年度は2年目）</p> <p>また、赤穂市と連携することにより、NHKプラタモリの誘致活動を展開することで、赤穂の塩とジオの魅力を広く情報発信を行う。</p>				
事業内容	<p>1 播州赤穂の塩・ジオ山歩き・まち歩き観光プログラム開発</p> <p>①現地視察調査（地質学アドバイザーを迎え、3回実施）</p> <p>②「播州赤穂の塩・ジオぶら歩き」モデルコース（10案作成、意見交換会実施）</p> <p>2 播州赤穂の塩・ジオ山歩き・まち歩き魅力発信</p> <p>①「10の謎解き」冊子の印刷配布（16ページ・カラー両面・1,000部作成）</p> <p>②プラタモリ誘致活動等による情報発信（姫路朝食会、NHK・制作会社へ資料送付）</p> <p>③「播州赤穂の塩・ジオぶら歩き」コース案内動画作成（坂越編・福浦編計2編）</p>				
地域	赤穂市内全域				
事業の効果	<p>コロナ禍が続き、「近隣のアウトドア観光」が注目されている中で、関西圏から近い赤穂で、魅力的な山歩きやまち歩きが楽しめる観光プログラム開発を行うことで、近隣観光地として新たな観光振興が期待できる。</p>				
事業経過（主なもの）	日時	場所	事業内容	参加者数	スタッフ数
	7月7日 8～9時	姫路キャッスルグラン ビリアル	姫路朝食会にて講演 テーマ「播州赤穂の塩とジオ」	19名	当会会員 1名
	8月		「ジオ博士と歩く播州赤穂の塩と ジオ10の謎解き」作成 1000冊		
	9月24日 9～17時	赤穂市有年地区	第1回視察調査（有年地区）	8名	当会会員 6名
	9～10月	NHK放送センター・ 神戸放送局他	プラタモリ誘致活動 （NHK・制作会社等へ資料送付）		
	10月22日 9～10時	福浦コミセン	播州赤穂の塩・ジオ謎解きライブ	約40名	当会会員 8名
	11月3日 9～17時	赤穂市西浜塩田 周辺、塩屋地区	第2回視察調査（西浜塩田周辺）	7名	当会会員 5名
	11月27日 9～17時	赤穂市坂越 生島・尼子山	第3回視察調査（生島・尼子山）	9名	当会会員 8名

1月19日 13時半～16時半	赤穂化成ハーモ ニーホール	赤穂海浜公園あり方検討会公開 ヒアリング意見発表	約40名	当会会員 2名
1月21日 9～12時	赤穂市福浦地区	播州赤穂の塩・ジオぶら歩き・福 浦モデルコース動画ロケ	6名	当会会員 3名
1月28日 9～12時	赤穂市坂越地区	播州赤穂の塩・ジオぶら歩き・坂 越モデルコース動画ロケ	7名	当会会員 4名
2月2日 18～20時	赤穂市中央公民 館	播州赤穂の塩・ジオぶら歩きモデ ルコース意見交換会	9名	当会会員 4名

9月24日有年地区視察調査（有年山）



11月3日西浜塩田周辺視察調査（堂山遺跡）



11月27日生島・尼子岩調査（生島井戸）



1月28日塩ジオぶら歩き坂越編ロケ



協働の相手方	赤穂ちよいちょい発見団 赤穂市産業振興部観光課 一般社団法人 あこう魅力発信基地 赤穂観光協会
今後の展望	令和3・4年度で行った赤穂の塩・ジオの魅力スポットの発掘とドローン撮影等を行うとともに、観光プログラム（モデルコース）案を作成した。 令和5年度は、引き続きプラタモリ誘致に向けた情報発信を行うとともに、赤穂市及び観光関係団体等と連携して、観光客誘致に向けた塩ジオぶら歩きパンフレット及び動画作成、ガイド付き観光コースのモニターツアーを実施する予定。

上高谷自治会

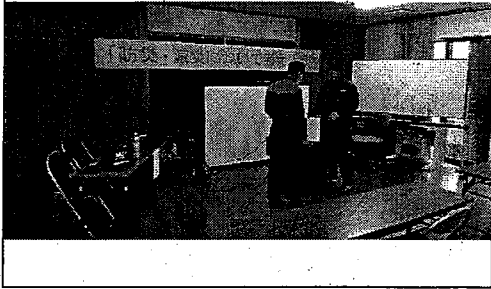
上高谷 くつろぎの縁側

所在：赤穂市
代表：門田 守弘

目的	上高谷地区の現状把握をすると、少子高齢化が加速度的に進み、自助だけでは住民の皆さまの日常生活が「安心・安全」な気持ちで過ごせないような状況になりつつある、その不安感を少しでも和らげるために、お隣同志の思いやる心の醸成をさらに積み上げ、それをもとに地区全体へと展開して、「安心・安全」な、まちづくりに取り組むことを目的とする。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・個別避難計画を作成して、安心・安全に暮らせるまちづくりに取り組みます。 ・子供たちに、歴史と伝統文化を伝え、ふるさとを思う心を醸成する。 (高瀬舟・北前船の歴史講座、上高谷地区の清掃作業) ・地区の伝統行事の七夕まつり、とんど祭りと新たに千種川の川遊びを地区の皆さんと一緒に子供、大人、高齢者の三者が融合して社会が子供を育む社会環境づくりに取り組む。 				
地域	赤穂市坂越上高谷				
事業の効果	避難行動要支援者を中心とした個別避難計画書を作成することにより、命の大切さをお互いが知り、ご近所の方々が要支援者のことを知ることにより、お互いさまの心が醸成され住民が安心して暮らせる地域力が生まれた。				
		場 所	事 業 内 容	参加者数	スタッフ数
事業経過	7月2日 (土)	坂越湾および生島海岸	海の記念日前に、坂越湾の清掃を行ない、天然記念物の生島を保護することを目的に毎年行なっています。	上高谷自治会 32名	8名
	7月9日 (土)	坂越公民館	個別避難訓練計画勉強会 1班、2班、3班、4班、5班 6班	39名 参加率： 70.0%	10名
	7月11日 ～27日 (毎週月曜日)	上高谷集会所	老人会が中心になり毎週月曜日8時30分～9時30分の1時間をかけて百歳体操を行なっています。	15名～ 18名	2名 順番制
	8月8日 (月)	上高谷集会所 木戸門 坂越保育所	七夕まつりの飾り物は、老人会が中心になり作成、竹切は自治会、飾り付けは、保育園児、小学生が行ないました。	子供会全 員：18名 保育園児	自治会： 11名 指導者： 6名 保護者： 18名

事業経過	8月11日 (木) 山の日	高瀬舟まつり ・勉強会・花 火大会	川(水)についての怖さ、カヌーの使用方法について学ぶ。 ・実際にカヌーに乗船して川遊びをする。 ・高瀬舟の歴史について学ぶ ・花火大会を行う。	子供会全 員：18名 中学生 ：3名	自治会 ：11名 指導者 ：6名 保護者 ：20名
	8月1日 ～ 8月31日	くつろぎの縁 側 優・優	夏休みの間、坂越小学校6年生を対象に坂越の歴史について勉強会を行う。 坂越小学校6年生の教室にて歴史の授業を6月8日、22日に行い、個人として追加学習を行う。	坂越小 6年生： 8名	指導者 ：1名
	9月17日 (土)	坂越公民館	個別避難訓練計画勉強会 7班、8班、9班、10班、11班	33名 参加率： 55.0%	4名
	9月18日～ 12月末	各家を訪問	115世帯を対象にマイ避難カードの作成を行う。		5名
	11月6日 (日)	上高谷地区内 の清掃	上高谷自治会員、全員参加にて清掃作業を行なった。	108名	11名
	12月25日 (日)	坂越高谷地区 共同墓地内	共同墓地の清掃を行う。	82名	5名
	1月15日 (日)	千種川河川敷 上高谷集会所	トンド製作・採火 子供会と自治会にて「むかし遊び」を行なった。	子供会全 員：18名 自治会： 30名	11名 2名

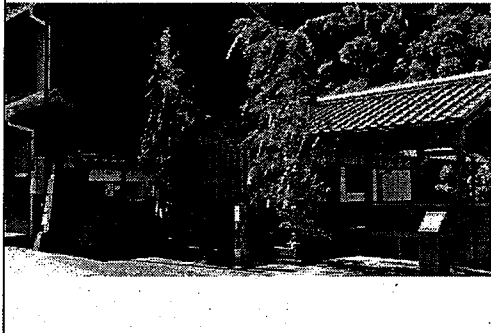
個別避難訓練計画勉強会準備風景
令和4年7月9日



七夕まつり飾りもの作成風景
令和4年8月8日



七夕まつり取付風景 木戸門にて
令和4年8月8日



とんど祭り風景 千種川河川敷にて
令和5年1月15日



協働の相手方	<p>上高谷自治会 所帯数：115 住民人口：280名 自治会役員：15名</p> <p>老人会（第四宝珠会）会員数：29名 喜楽会 会員数：25名</p> <p>子供会 会員数：18名</p>
今後の展望	<p>地区住民が、次世代のこどもたちを育てる環境づくり、ひとり暮らしの方、歩行困難な方が、毎年増えてきています。お隣同志による声掛け、元気な方が弱者の声に耳を傾け「安心・安全」に過ごせるように互いを助ける互助の気持ちを育み、暮らしやすい環境づくりを住民自らが積極的にかかわり、ほっこりとした「くつろぎの縁側」を創っていきたい。</p>

T-SIP たつのソーシャルインクルージョンプロジェクト

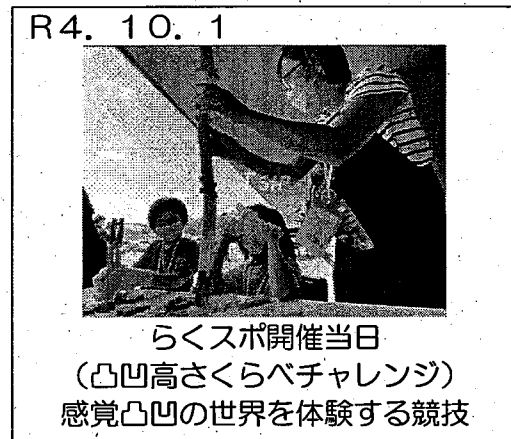
楽しむことをバリアフリーに!ユニバーサルニュースポーツ「らくスポ」

所在：たつの市
代表：宮崎 宏興

目的	<p>健常者スポーツでも障害者スポーツでもない、誰もが楽しむことをバリアフリー化するユニバーサルニュースポーツの開発とスポーツレクリエーションイベントの開催。その全過程を通じて、多様性に触れ、気づき、その後の生活における配慮や支え合いを醸す地域づくりを推進した。また、創出されたユニバーサルニュースポーツは、自治体と連携し、各地の学校や自治会行事等でも取り入れていけるようプログラムパッケージ（らくスポカード）を作成し配布する。</p>				
事業内容	<p>ワーキングチームとして、たつの市内の障害者団体（身体障害者福祉協会・手をつなぐ育成会・精神福祉家族会）、障害当事者、大学等（姫路獨協大学・姫路医療専門学校・龍野北高校・播磨特別支援学校）・福祉団体（いねいぶる・西はりまりハビリテーションセンター）、たつの市（地域福祉課・体育振興課）・たつの市民生委員・その他市民が参集し、ユニバーサルニュースポーツの企画や制作などを行なっていく。全過程は動画記録し、後にコミュニティデザイン手法として普及させた。また市内の各小学校等や自治会等で実施できるよう、開発した種目のルールや実施方法・日常生活上の配慮内容等を知ることができる「らくスポカード」を配布した。</p>				
地域	たつの市				
事業の効果	<p>誰もがともに楽しめるユニバーサルニュースポーツの開発およびイベント開催によって、それまで触れ合うことのなかった多様な市民が、本プロジェクトの過程で循環する気づきや配慮を経験すること、また、イベントへ参加した市民が、身近な地域で同スポーツを利用していくこと、加えて、小学校等でのスポーツ行事の際にも同スポーツを利用していくことによって、市民全体へユニバーサル社会や多様な社会に関する気づきと配慮を醸す地域づくりに寄与できた。また、たつの市が西播磨圏域および他地域への活動モデルとして、より広く普及することが期待できる。</p>				
事業経過		場 所	事 業 内 容	参加者数	スタッフ数
	6月1日	たつの市役所 (会議室)	本事業の事前打ち合わせ// らくスポ開催日の調整及びらく スポ会議進行の設計について協 議した。		5名
	6月15日	たつの市役所 (会議室)	本事業の事前打ち合わせ// らくスポ会議進行の設計及び会 議参加者の調整を協議した。		5名
	7月27日 13:30- 15:30	たつの市役所 (会議室)	らくスポ会議キックオフ// 対面及びオンラインによる参加 を保障したハイブリッド開催。 らくスポのコンセプト共有及び アイデア出しのワークショップ を開催した。ユニバーサルニュ ースポーツの開発を通じた多様 性の気づきと対話の促進を目的 とした。		17名

事業経過	8月16日 13:30- 15:30	たつの市役所 (会議室)	らくスポ会議// 対面及びオンラインによる参加を保障したハイブリッド開催。アイデアを8種にまとめて、チームに別れて競技を検討した。		18名
	9月2日 13:30- 15:30	たつの市役所 (会議室)	らくスポ会議// 対面及びオンラインによる参加を保障したハイブリッド開催。アイデアを8種にまとめて、チームに別れて競技を検討した。		35名
	9月14日 13:30- 15:30	たつの市役所 (会場予定地)	らくスポ会議// 対面及びオンラインによる参加を保障したハイブリッド開催。開催会場予定地であるたつの市役所内を視察しながら競技内容の検討を進めた。		35名
	9月29日 13:30- 15:30	たつの市役所 (会場予定地)	らくスポ会議// 対面及びオンラインによる参加を保障したハイブリッド開催。チームごとの最終打ち合わせ内容を発表し全体共有した。開催当日の進行及び諸注意を確認した。		28名
	10月1日 全体 8:00- 17:00 開催 10:00- 15:00	たつの市役所 (会場)	らくスポ開催// らくスポ競技8種を中心に多くの市民が参加。障害の有無を問わず多世代が活動を共にすることができた。また配布した当日用らくスポカードには、競技ルールや準備物、障害の特性に合わせた配慮の方法が記載されており、参加者はそのカードを競技体験ごとに取得し、全カードを集めることで、体験と知識を得ることができた。	1000 名	118 名
	10月12日 13:30- 15:30	たつの市役所 (会議室)	らくスポ振り返り会議// 対面及びオンラインによる参加を保障したハイブリッド開催。開催当日の結果を、動画を見ながら振り返った。スタッフそれぞれが評価を伝え、1枚の模造紙に共有した。次年度開催に向けた課題やアイデアも共有した。		12名
	11月20日 17:00- 19:00	いねいぶる	らくスポカード編集会議// 競技動画入りのらくスポカード(配布用)の編集に関する協議を行なった。		5名

事業経過	12月28日 17:00- 19:00	いねいぶる	らくスポカード編集会議// 競技動画入りのらくスポカード (配布用)の編集に関する協議 を行なった。	5名
	1月29日 13:30- 15:30	いねいぶる	本事業の振り返り会議 本事業全体の振り返りと、次年度以降も継続していく上での検討事項について協議した。	5名



協働の相手方	たつの市役所地域福祉課 たつの市スポーツ振興課 たつの市身体障害者福祉協会 たつの市手をつなぐ育成会 龍野精神福祉家族会 姫路獨協大学 姫路医療専門学校 兵庫県立龍野北高校 兵庫県立太子高校 兵庫県立播磨特別支援学校 NPO 法人いねいぶる NPO 法人愛ランド 西はりまりハビリテーションセンター
今後の展望	毎年開催されている市の障害者レクリエーションスポーツ事業へ統合していくことにより、継続的運営を可能化する。 今後も、らくスポ事業により、①ユニバーサル社会実現に向けた市民同士の対話を促進するワークショップを開催運営し、②新規らくスポ競技の開発又はブラッシュアップによる参加型プロトタイプングを行い、③らくスポ開催時の多様な参加と交流、及び、④らくスポカード(配布版)の普及による日常化の一連のプログラムを、持続可能なデザインとして醸成していく。

宍粟くらし移住支援舎 地域交流および広報活動事業

宍粟くらし移住支援舎

所在：宍粟市
代表：田中 啓介

<p>目的</p>	<p>宍粟市は 2015-2020 の期間で 3,266 人の人口減少。さらに 2030 年には 9,499 人の人口減となり 3 万人を下回る予測が出され、西播磨地域で最も人口減少が進む地域です。この人口減少のうちの 7 割以上が生産年齢人口であり、この傾向から長期的（2050 年）に見ると宍粟市の人口は 17,022 人と約半数にまで減少する。人口減に伴い、空き家や農地の問題をはじめとした弊害がより加速度的に進んでいくことが容易に考えられる。</p> <p>私たち宍粟くらし移住支援舎のメンバーは全員が移住者であり、移住者としての体験をもとにした宍粟市への生産年齢人口の流入を増やす取り組みの一つとして移住イベントの開催と移住冊子の制作を行う。</p>
<p>事業内容</p>	<p>移住冊子試刷 2022 年 8 月「楽-RAKU」300 部制作 宍粟市の自然や人々の暮らしなど魅力を掲載。 冊子「楽-RAKU」の制作にあたり、毎週制作会議と取材を重ね、地元住民の想いや、移住者が移住を決断した経緯や体験談、地元企業のご協力、空き家の現状、行政による移住支援などを盛り込んだ仕上がりとなり、移住者だけの視点ではなく、移住者を受け入れる側の風景も切り取りました。</p> <p>移住イベント 2022 年 8 月、宍粟市役所内ロビーにて、当団体の周知活動を兼ねた移住イベントを主催し、当団体の活動紹介、移住冊子の頒布、住民との交流を行った。 計画当初は移住希望者向けにイベント開催予定であったが、時期尚早と考え移住者を受け入れるための事前準備として、地元住民の方々に当団体の活動の意図をご理解いただく認知活動に方向性を修正した。 宍粟市の動向やこれまでの活動内容及び将来的に取り組みたい活動などを A0 パネル 16 枚で展示。最終日 8 月 26 日は、当会メンバーが終日ご来場者と直接交流できる機会を設けた。 その反響から、2022 年 10 月、当初の計画にはなかった一宮市民局においても同イベントを開催いたしました。</p> <p>移住冊子「楽-RAKU」2,000 部創刊 2022 年 11 月末 移住に関わる情報提供、先輩移住者インタビュー、空き家探訪、移住者受け入れ地域住民の声、行政支援などを掲載</p> <p>冊子「楽-RAKU」頒布開始 2022 年 12 月～ 宍粟市まちづくり推進課、宍粟市住宅土地政策課、宍粟市観光協会、いちのびあ、道の駅みなみ波賀、好きや de 西播磨、イチゴベース、など関係各所への頒布を開始</p>
<p>地域</p>	<p>宍粟市</p>

事業の効果

ホームページやSNSなどWeb媒体を利用した情報発信はなかったが、イベント当日には口コミで市内の方にもご来場いただき、団体メンバーと多岐にわたる情報交換を行った。市役所に来庁された市民の方もイベントへお立ち寄りいただき、イベント後には市民の方からも「しそくら」と当団体を愛称で呼んでいただける認知度をもてた。

この事業をきっかけに、姫路市にお住まいの子育て世代のご家族から「宍粟市の自然（山・川）に魅力を感じ、宍粟市の豊かな自然の元で土に触れながら（農）子育てをしたいと考えて調べを進めている」との移住相談をいただいた。次の機会には、しそくら会内で農業に取り組んでいるメンバーを紹介したい、移住希望地や物件、農地をご案内したいと提案しましたが、先方とは次の機会につながることはありませんでした。

また宍粟市及び近隣に居住する高齢者のご家族から、空き家など不動産を所有しているが将来所有し続けていくことに関するご相談を3件いただいた。実際に現地を拝見させていただき、所有者様の想いを伺い、賃貸物件として空き家バンクにつながるご提案をさせていただきました。その際、当会のスピード感が悪く期を逸してしまいましたが、それをきっかけに地元で不動産業を営む同世代の方と出会うことができ、当会と行政のみならず、地元住民の方からご協力いただける存在ができました。他2件に関しては、空き家バンク等への掲載の意思はないとのことでしたので、当会に移住相談される方への紹介物件として、情報を提供していただく運びとなりました。

こうして実際に相談を頂いたことをきっかけに当会の力不足に直面し、新たな協力者を得るきっかけにもなり、輪が作られつつあります。

	場 所	事 業 内 容	参加者数	スタッフ数	
事業経過	4/25	宍粟市千種町	冊子制作会議	2名	6名
	5/10	宍粟市千種町	冊子制作会議	2名	8名
	5/14	宍粟市千種町	冊子制作会議	2名	4名
	5/24	宍粟市千種町	冊子制作会議	2名	5名
	6/6	宍粟市一宮町	冊子制作会議	2名	2名
	6/8	宍粟市一宮町	冊子制作会議	2名	8名
	6/17	宍粟市千種町	冊子制作会議	2名	4名
	6/23	宍粟市波賀町	取材	4名	4名
	6/27	宍粟市一宮町	取材	2名	2名
	6/30	宍粟市山崎町	取材	3名	1名
	7/3	宍粟市一宮町	取材	5名	1名
	7/4	宍粟市山崎町	冊子制作会議		8名
	7/8	宍粟市一宮町	イベント準備		1名
	7/8	宍粟市一宮町	神戸新聞 取材	1名	1名
	7/8	宍粟市一宮町	冊子制作会議		2名
	7/10	宍粟市一宮町	取材	7名	1名
	7/11	宍粟市山崎町	神戸新聞取材	1名	7名
	7/12	宍粟市一宮町	イベント準備		2名
	7/14		神戸新聞 掲載		
	7/15	宍粟市山崎町 宍粟市一宮町	取材	5名	3名
7/17	宍粟市千種町	冊子制作会議	2名	5名	

7/21	宍粟市一宮町	冊子制作会議		3名
7/25	宍粟市一宮町	冊子制作会議		2名
7/31	宍粟市一宮町	冊子制作会議	2名	3名
8/1	宍粟市一宮町	イベント準備		3名
8/2	宍粟市一宮町	冊子制作会議	2名	8名
8月中旬	宍粟市	冊子試刷「楽-RAKU」300部		
8/22	宍粟市役所	イベント準備		3名
8/22- 8/26	宍粟市役所	移住イベント 活動紹介・冊子頒布・住民交流 宍粟市の動向やこれまでの活動 内容及び将来的に取り組みたい 活動などをA0パネル16枚で展 示。最終日26日には当会メンバ ーが終日ご来場者と直接交流で きる機会を設けた。	約200名	5名
9/29	一宮市民局	イベント準備		2名
10月1日 ~10月7 日	一宮市民局	移住イベント イベント参加者と直接交流でき る機会はなく、パネル展示のみ	約100名	2名
10/14	宍粟市役所	市長との意見交換 4月からの活動を陰ながら応援 していただいていた市長と市役 所内複数の課を交えて活動の共 有と今後の展望などをお話し、 「行政としても応援していきたい」と市長から各課へお言葉を いただいた。	7名	6名
11月末	宍粟市	冊子「楽-RAKU」創刊 移住に関わる情報提供 先輩移住者インタビュー、空き 家探訪、移住者受け入れ地域住 民の声、行政支援など		8名
12月-1月	宍粟市内外	冊子「楽-RAKU」頒布開始 まちづくり推進、住宅土地政策、 観光協会、いちのぴあ、道の駅み なみ波賀、好きやde西播磨、イ チゴベース、など関係各所への 頒布を開始		2名

8月26日
宍粟市役所にてイベント（全体）



8月26日
冊子「楽-RAKU-」



8月26日
宍粟市役所にてイベント（ポスター）



10月1日
一宮市民局にてイベント



<p>協働の 相手方</p>	
<p>今後の 展望</p>	<p>頒布や取材の調整、打ち合わせなど、皆本業があり奉仕である当団体に割く時間が限られているため、思うように進行できなかった。今後は団体として、主となり活動できるメンバーを地域おこし協力隊などから受け入れ、これらの調整業務を円滑化させる。</p> <p>計画段階では当冊子を団体の情報媒体として、季刊誌にしていきたいと考えていたが、私たちが移住先を探していたころを振り返っても新しい冊子が出るたびにもらいにいくという行動はとらなかった。1回の機会・出会いを良縁にするため、内容を厚くし、宍粟市でのくらしをもっと見えるような冊子を年報として作り、一年かけて頒布していく方がよいと判断しました。</p> <p>来年度は冊子を精査するとともにweb媒体にも着手し、宍粟市を知ってもらうきっかけを作りながら宍粟市内での移住者に関わるコミュニティ活動に取り組む。</p>

揖西をロゲイニングしよう

所在：たつの市
代表：菅野 仁孜

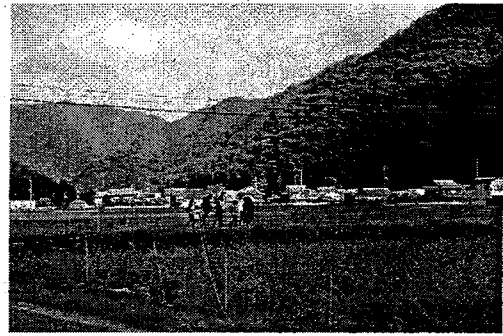
目的	<p>少子高齢化が進む揖西地区の良さを知ってもらうこと、地域外から揖西町を訪れ、揖西町の良さを知ってもらうことを目的に、そんな機会を設けたかった。</p>				
事業内容	<p>揖西町を、自由に散策しながら、目的地をめぐる「ロゲイニング」を開催した</p>				
地域	<p>揖西町内の各ポイントを設定し、どこをめぐるかは自由にした</p>				
事業の効果	<p>参加者の感想や聞き取りより、 「大きないいお寺があるんだと、発見した。」 「結構いろいろあって楽しかった、秋の田舎道をのんびり歩けた」「子どもらが昆虫館で楽しんだ」「お寺のお堂で豚汁をいただき、大変落ち着いた」 などの感想をいただいた。 揖西町を知ってもらういい機会になった。</p>				
		場 所	事 業 内 容	参加者数	スタッフ数
事業経過	4月29日	協議会事務所	準備会議・候補地検討・試歩き1		5
	5月3日	"	準備会議・候補地検討		5
	6月20日	"	準備会議・候補地検討		5
	7月17日	"	準備会議・		5
	8月17日	協議会事務所 各スポット	準備会議・候補地交渉・試し歩き		5
	9月13日	協議会事務所	準備会議・アプリ勉強会・ちらし検討		5
	10月17日	"	準備会議・候補地と打合せ		7
	11月14日	"	準備会議・リハーサル		10
	11月26日	"	前日準備		12
	11月27日	協議会事務所 各スポット	開催当日	42	12
	12月2日	協議会事務所	反省会・各所お礼		8
	1月30日	"	反省会・整理		10
	2月20日	"	反省会・交流会準備		10
3月20日	"	反省兼ねて次年度の計画会議		10	

すべて11月27日 ロゲイニング当日

集合・事前説明など



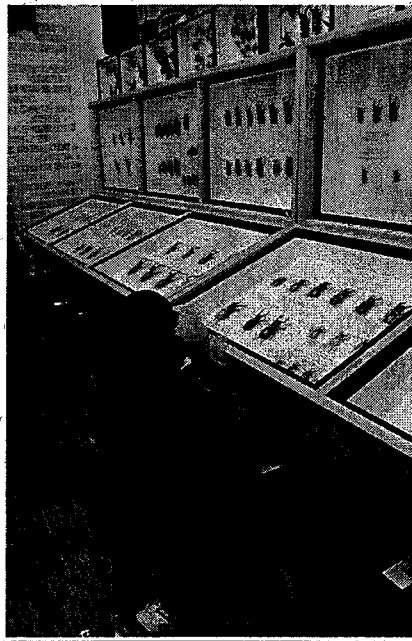
揖西ロゲイニング光景



スポット、恩徳寺にて軽食提供



子供に人気スポット 昆虫館にて



協働の相手方	
今後の展望	<p>揖西の地域でロゲイニングができたことで、目標達成となったので、今後は地域を広げ、たつの市内の他の地区でも、その地域の団体と協働してロゲイニングをしていきたい。そしてたくさんの人にたつの市に来てほしいと思う。</p>

劇団アルティスタ

デザイン書道教室

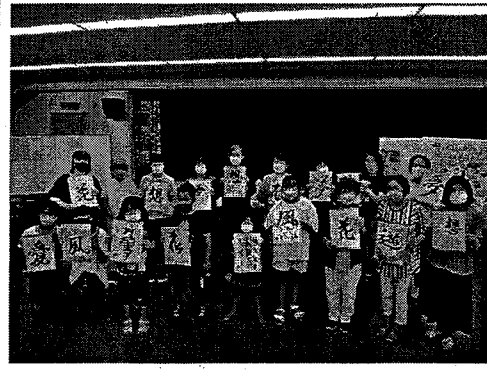
所在：赤穂市
代表：山村 美知

目的	古くからの文化を大切にしながら、個々の想いや心を彩りで表現し、新しい芸術文化を創り出す。変化に柔軟に対応したり、思考したりすることで、次世代のリーダーを育成する				
事業内容	<p>第1部 幼児、小学生対象「文字と絵で遊ぼう」 「夢」「家」等の文字に色や模様を加えて、心の内面を放出する。</p> <p>第2部 中学生～一般対象「暮らしに生かす作品作り」 「風」「愛」等の文字に絵や詩を添えて自由な発想で心を表現する。</p>				
地域	赤穂市内				
事業の効果	<p>筆文字に絵や詩を組み合わせて独創的な作品に仕上げる「デザイン書道」を周知してもらう機会になった。</p> <p>自由な発想で型にはまらない柔軟性や対応力を取り入れることで、多様な価値を見出すことができた。</p> <p>一人ひとりの心を豊かにし、人材育成につながる取り組みができた。</p> <p>事業後に、講師の宮本氏に「デザイン書道教室」の体験申し込みの問い合わせがあった。</p> <p>スタッフの中に聴覚障がい者がいたため、事業日には手話通訳や要約筆記も同席していた。多くの人の目に触れ、必要性を知ってもらう機会になった。</p>				
		場 所	事 業 内 容	参加者数	スタッフ数
事業経過	7 / 28	各家庭	準備役割分担		8
	7 / 31	赤穂市民会館 (大会議室)	デザイン書道教室 (第1部、第2部)	52	8
	8 / 11	赤穂市民会館	反省会		8

7月31日 幼児・小学生の部



7月31日 一般の部



7月31日 講師による指導



7月31日 講師による講義



<p>協働の 相手方</p>	
<p>今後の 展望</p>	<p>新しい試みだったため、小学生からの申し込みが殺到し、多数断ることになった。 事業後のアンケートでは、参加者からかなり好評だったことと、講師からさらなるアイデアをいただいたので、今後も継続する事業にしたい。</p>

相生(おお)の港町を持続させる会

みんなでつくろう!龍山公園復活プロジェクト

所在：相生市
代表：渡部 政弘

目的	かつて相生湾が一望でき、地域住民の憩いの場所であった龍山公園の整備を自治会や市役所と協働しながら行い、再び憩いの場所として復活させることが目的です。				
事業内容	地域の皆さんに安心して訪れていただけるように、かつての景観を取り戻すため、市所有の公園や山道で海への景観を遮っている木や雑木、倒壊しかけている木や笹を切ったり、山道の枯葉や落石の除去を行いました。また、訪れた方に、その都度清掃していただけるように山道の4カ所にほうきの設置を行いました。				
地域	相生市相生				
事業の効果	当初は団体メンバーのみでしたが、自治会の方が協力してくださったり、市内外問わずSNSを見てくださった方が、活動に参加してくれるようになりました。 また、市の方も依頼した公園広場の整備など迅速に取り組んでくださり、公園を訪れた方々からは本当にきれいになったとお声掛けをいただいたり、SNSの配信を見て訪れてくれた方も増えています。				
		場 所	事 業 内 容	参加者数	スタッフ数
事業経過	令和4年 8月30日	龍山公園	視覚を遮っていた笹の伐採を行いました。		3人
	令和4年 11月28日	龍山公園	雑木及び枯れ木、倒木しかけている木を伐採。山道の落石や枝の撤去、枯れ葉を掃いたり、プロアールで吹き飛ばしました。また、ゴミも拾いました。	1人	3人
	令和5年 1月30日	龍山公園	前回に引き続き木の伐採とゴミ拾いを行いました。山道4カ所に看板とほうきを設置しました。	4人	4名



協働の相手方	相生市役所都市整備課、南町自治会
今後の展望	<p>まだまだ山中にはゴミが散見するため、清掃活動の継続と笹や雑木が沢山あるため、随時市役所立会いのもと木の伐採を行い、元の山の姿に戻していきます。</p> <p>また、定期的に清掃活動や山遊びなどのイベントを企画して、沢山の方に周知し、遊びに来ていただくきっかけを作っていく予定です。</p>

平福ヒノアタルマルシェ

所在：佐用町
代表：春名 政男

目的	<p>当該地域では、少子高齢化が急速に進行し、地域存続の危機に陥っている。特に、独居老人等の増加が深刻であり、買い物難民に対する対策が急務である。また、当該地域では、過去にはたくさんの商店が並び活気に満ち溢れていたが、現在では、その商店もほとんど廃業され、賑わいが無くなり、地域の魅力が失われつつある。</p> <p>上記課題を解決するために、当該地域において、高齢者でも気軽に立ち寄れる小規模なマルシェを定期的開催し、地域の活気や魅力を取り戻す。</p>				
事業内容	<p>当該地域内で、定期的（月1回、計8回）なマルシェを開催した。</p> <p>マルシェの規模は、飲食店から雑貨等の10店舗ほどで、ターゲットは、当初は地域内に絞り、反響を見ながら、地域外からの交流人口の増加も視野に入れて実施。</p>				
地域	旧利神小学校区域				
事業の効果	<p>当初想定していた集客数には届かなかったものの、商店やマルシェ等のイベントがほとんどない当該地域において、月1回のマルシェという定期的な買い物や交流の場を設けることにより、地域活性化につながった。今後は、マルシェの内容はもとより、集客対象や方法を見直し、さらなる地域活性化を図ることが必要と考えている。</p>				
事業経過	日時	場 所	事 業 内 容	参加者数	スタッフ数
	6月5日	光勝寺	マルシェ開催	169	6
	7月10日	光勝寺	マルシェ開催	109	5
	8月7日	光勝寺	マルシェ開催	46	6
	9月4日	光勝寺	マルシェ開催	60	4
	10月2日	光勝寺	マルシェ開催	86	5
	11月6日	光勝寺	マルシェ開催	114	5
	12月4日	光勝寺	マルシェ開催	137	6
	1月15日	光勝寺	マルシェ開催	57	4

平福ヒノアタルマルシェ

6/5開催



7/10開催



8/7開催



12/4開催



<p>協働の相手方</p>	<p>平福地域づくり協議会 佐用町 佐用町観光協会</p>
<p>今後の展望</p>	<p>今年度の事業により、地域内への魅力発信はある程度達成したように思われるが、今後は地域外にもPR（集客）していきたい。また、継続することが最も大切であるため、今後は収支面の改善と作業効率及び最小限の労働量の追求により、持続可能な事業に昇華させたい。</p>

佐用山城ガイド協会

利神城と平福宿写真コンテスト

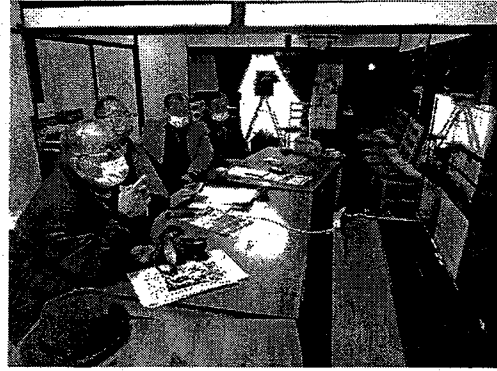
所在：佐用町
代表：春名 政男

目的	平福の魅力を広く知ってもらい交流人口の増加を目指すため、誰でもが気軽に応募できる Instagram を活用しての写真コンテストを行います。観光客や写真愛好家が宿場町平福の風景や風物詩を投稿することで Instagram を媒体として何万人もの人に平福の魅力が発信されます。また公共の場所で展示することにより、佐用町住民にとって見慣れたはずの光景が、投稿者の目を通して魅力的なものとして再認識されることを期待します。				
事業内容	この事業の目的は優秀な作品を求めることよりも、交流人口を増やす事を優先させます。そして、来訪者が気軽にスマホで行える SNS を生かした応募方法取りまます。また、四季折々の魅力的な風景等を投稿できるよう募集期間を長く設定し、一人が何度も応募できる Instagram を活用したコンテストを実施します。				
地域	佐用町平福地域				
事業の効果	応募期間、令和4年7月10日から令和5年1月20日の間に利神城の訪問者や因幡街道の交流人口が増加した。 応募作品は763点の応募がありました。 協賛事業所は12件で地域の取り組みとなりました。 展示は平福地域をはじめ、町内各地で継続的に行います。				
事業経過		場 所	事 業 内 容	参加者数	スタッフ数
	2022.05.10	佐用町平福	事業計画検討会 写真募集、協力団体、応募要領、等企画の決定をしました。	4人	4人
	2022.07.01	佐用町平福	募集ピラを作成して平福の光明寺、道の駅ひらふく、さよう文化情報センター等公共施設へ配付しました。	3人	3人
	2022.07.17 ~08.10	佐用町平福	平福地域内事業所へ協賛に依頼に行きました。光明寺、道の駅ひらふく、KUMOTUKI 等事業所依頼	2人	2人
	2023.01.31	佐用町平福	募集締め切り、応募内容確認	2人	2人
	2023.02.10	佐用町平福	審査会を開催し、入賞、入選作品を決定。	5人	4人
	2023.02.19	佐用町平福平福地域づくりセンター	入賞写真展示	4人	3人

募集ピラ配布 2022.07.01



審査風景 2023.2.10



入賞写真



(写真展示)

協働の相手方	特定非営利活動法人ほっとネット373 (コンテスト企画、審査会の検討参加)
今後の展望	今回は初めての取り組みで予想以上の応募があり、地域の光明寺、道の駅ひらふく、因幡街道沿いの関係人口の増加や利神城のガイド希望者やフジバカマ園のアサギマダラの見学者もあり、一定の効果がありました。 今後は地域事業者の協力を得ながら継続的に取り組むことでより高い効果を目指したい。

THE リズムデー ～音楽が楽しいと感じる日～

所在：姫路市
代表：神成 一志

<p>目的</p>	<p>現在の西播磨においてはイジメ、引きこもり、不登校についての情報が少なく、そしてそれについての撲滅イベントもありません。 イジメ撲滅活動のようなこともせず、周りの大人たちは学校の現場だけにそういうことを押し付けてるのではないのでしょうか。 子供達がイジメ、不登校にならず 楽しい日々を過ごせる地域づくりが必要ではないか？ その為にはどうすればいいか？ 何が必要かを自分達自身で創り上げるという意識を持つことが必要です。 そんな仲間づくりをします</p>
<p>事業内容</p>	<p>『 THE リズムデー 』 ～音楽が楽しいと感じる日～</p> <p>イジメ、引きこもり、不登校の子供達のことを広く知ってもらおうとともに、地域でも何ができるかを考えてもらうイベントを開催しました。 2007年のカナダで始まったイジメ撲滅運動『ピンクシャツデー』この運動の趣旨にあわせ、私たちも活動します</p> <p>「音楽は、その人の一日を変えることができる」 をテーマに 音楽の楽しさ、音楽は人のこころを動かす、音楽で仲間をつくりました。</p> <p>1月15日 『 THE リズムデー 』 イベントの内容</p> <p>1部 《梶原徹也氏の講演とワークショップ》</p> <p>①梶原徹也氏 講演 『音楽はその人の1日を変えることができる』 ②ドラム梶くんの 「リズムワークショップ」 (梶原徹也さん) 音楽の原点 リズムを楽しむワークショップ 会場の方にバブルスティックを配布します 梶くんのドラムに合わせて参加者はバブルスティックでリズムを創ります。 梶くんのドラムとのコール&レスポンスでホールに集まった人達が一体化しました。</p> <p>2部 《参加者の発表会》 (一般参加者の発表) (一般募集で集まった 数チーム) 一般参加者のテーマに合った演技発表 (ダンス、音楽系楽しい仲間づくりなど)</p> <p>3部 《エンディング》 イベントのエンディングには応募して頂いたテーマ曲で会場との一体化したコラボ演技で仲間の輪を作り上げました。</p>
<p>地域</p>	<p>西播磨 全域</p>

事業の 効果	<p>音楽は その人の1日を変えることができるをテーマにイベントを開催しました。参加者には音楽がどれほど大切か、楽しいか、とても大きな力があるということを感じてもらえたと思います。</p> <p>このイベントを機会に個人個人の意識の中にイジメ撲滅ということと、音楽が仲間を作るという意識ができたと思います。</p>				
		場 所	事 業 内 容	参加者数	スタッフ数
事業 経過	5/28	滋賀県草津市	講師 梶原氏 打ち合わせ	4	1
	9/17	揖保川公民館	コラボダンス練習会 交流会	37	3
	10/8	揖保川公民館	コラボダンス練習会 交流会	45	3
	10/27	大阪市	講師 梶原氏 打ち合わせ	2	1
	10/30	た つ の アクアホール	コラボダンス練習会 交流会	42	3
	12/7	たつの赤とんぼ文化ホール	コラボダンス練習会 交流会	43	3
	1/15	たつの赤とんぼ文化ホール	THE RHYTHM DAY イベント	1,200	16
		たつの事務所	反省会 来年度企画	5	5

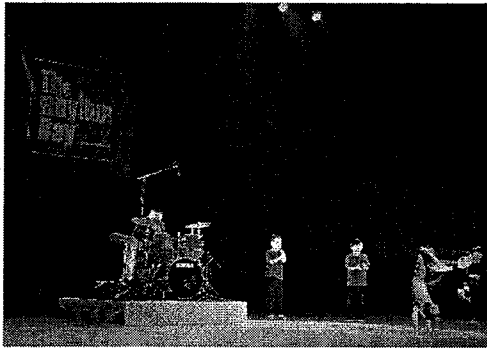
たつの赤とんぼホール 1/15



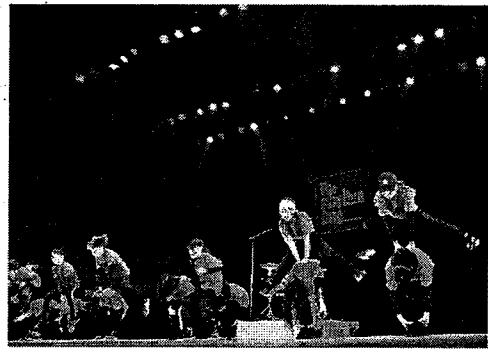
リズム遊びワークショップ 1/15



KAJIくんとコラボ 1/15



B-KIDS ダンス交流 1/15



協働の相手方	たつの市教育委員会 後援
今後の展望	<p>参加者には音楽がどれほど大切か、楽しいか、とても大きな力があるということを感じてもらえたかと思います。</p> <p>このイベントを機会に個人個人の意識の中にイジメ撲滅ということと、音楽が仲間を作れるという意識ができたと思います。</p> <p>令和5年度以降も このイベントは継続します。</p> <p>年々、地域を広げていき（西播磨だけでなく東播磨へ）より多く人に理解してもらえるような活動を行います。</p>

Techno Music Shower 2022

所在：赤穂郡上郡町
代表：安則 眞一

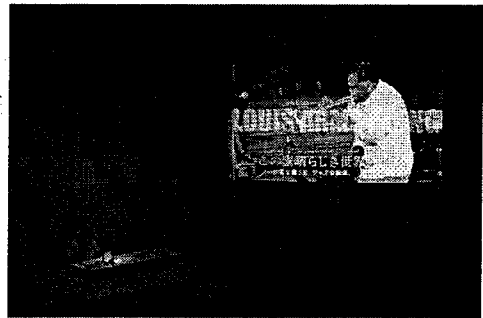
目的	<p>一昨年「テクノ・アート・サマー2020」、昨年「アートでエールを 2021」と銘打って開催した、芸術文化活動を今年度は、「Techno Music Shower 2022」と称して継続し、芸術文化の拠点としての播磨科学公園都市の付加価値をさらにアップさせる。</p>
内容	<p>Techno Music Shower 2022</p> <p>○輝いていたあの時を呼びさますレコードコンサート 8月20日(土) 先端科学技術支援センター大ホール 14:00~16:00 第1部 エルビスがやってくる!! 第2部 ころとときめくあの日の1曲!! パーソナリティー 三浦紘朗 協力 本條 潔(エルビスのレコード提供)、佐用オーディオ倶楽部(音響機器) 来場者数 73名</p> <p>○第4回テクノ・ジャズ・フェスティバル 8月28日(日) 先端科学技術支援センター大ホール 15:00~17:30 Nobuki Takamen Trio 高免信喜(ギター) 棚橋俊幸(ベース) 會川直樹(ドラムス) Miki Hirose Quintet 広瀬未来(トランペット) 西口明宏(テナーサックス) 樋口広大(ドラムス) 中林薫平(ベース) 加納新(ピアノ) 特別ゲスト 佐藤恭子(アルトサックス) 司会 三浦紘朗、来場者数 162名</p> <p>演奏の様子はFaceBookWebpageで有料ライブ配信される 再生回数 98回 9/3 現在</p>
地域	<p>西播磨地域全域</p>
事業の効果	<p>○輝いていたあの時を呼びさますレコードコンサート 今回で3回目を迎え、年々参加者が増加し認知度がアップしていると思われる。参加者の多くが60代~70代でリピーターの方も多く、文字通り「輝いていたあの時を呼びさますレコードコンサート」になった。</p> <p>○第4回テクノ・ジャズ・フェスティバル コロナウィルス第7波の影響を受け、参加者数に影響が出ることが懸念される中、3年ぶりに開催した。待望されている方が多く居られ、参加者数は前回に比べ減少したが、内容は充実し大盛況であった。</p> <p>また、今回初めて有料のリモートライブ視聴チケットの販売を試みた。昨年の野外ライブで無料の映像配信は試行済で、今回も問題なく進行できた。代金回収のシステム構築を含め、新たなノウハウと対応する人材が育成できた。</p>

事業の 効果	○播磨科学公園都市を芸術文化の拠点とする試みはまだまだ可能性を十分に含んでおり継続することでさらに交流人口の拡大に貢献できると確信できた。				
	○新型コロナウイルスの影響下感染対策に努め、問題なくイベントを盛況で終われたことに感謝している。				
事業 経過		場 所	内 容	参加者数	スタッフ数
	2022/04/27		協賛企業協力案内 配布 (17企業・団体)		2名
	2022/05/08	ひがし蔵	リモートライブ配信打合せ		2名
	2022/06/05	キャスパホール	レコードコンサート打合せ		2名
	2022/06/26	ひがし蔵	リモートライブ配信打合せ		2名
		西播磨県民局	地域づくり活動応援事業審査会		2名
	2022/06/30	里山 ICT 能開 学校	リモートライブ配信集金シス テム打合せ		3名
		菊森さんの家	上郡民報道取材対応		2名
	2022/7/01	菊森さんの家	FaceBook による広報開始		1名
	2022/07/02	ハーバーランド	レコードコンサート運営 打合せ		3名
	2022/07/03	菊森さんの家	協賛企業請求書発送		2名
	2022/07/07	相生	音響担当と打合せ		2名
	2022/07/09	先端センター	リモートライブ配信 会場 (大ホール) 確認		2名
	2022/07/11		リモートライブ配信 チケット販売の広報スタート		1名
	2022/07/20		上郡民報 7月号 記事掲載		
	2022/07/26		地域づくり活動応援事業 補助金決定通知書受領		
	2022/07/27	赤穂保険セン ター	会場設営打合せ		4名
	2022/08/20	先端センター 大ホール	レコードコンサート	73名	8名
	2022/08/26		機材借用		2名
	2022/08/27	先端センター	招聘ミュージシャン到着 (4名)		4名
2022/08/28	先端センター 大ホール	第4回テクノ・ジャズ・フェス	162名	12名	
2022/08/28	はりま倶楽部	反省会		10名	
~ 2022/09/30		報告書等の作成		2名	

8/20 レコードコンサート



8/20 レコードコンサート



8/28 テクノ・ジャズ・フェス



8/28 テクノ・ジャズ・フェス



協働の相手方	<p>○レコードコンサート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音響機材について佐用オーディオ倶楽部（SACD）さんに、 ・エルピスのレコードについては本條 潔さんに、 ・音楽イメージ画像作成については内田 泉さんに ・記録写真については野村久雄さんに協力を頂いた <p>○第4回テクノ・ジャズ・フェスティバル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有料リモートライブ配信について、 代金回収システムについて 里山ICT能開学校の西坂さんに 映像配信については白川文彦さんの協力を頂いた ・記録写真については野村久雄さんに協力を頂いた
今後の展望	<p>新型コロナウイルスの影響で2年間の休止期間を経て3年ぶりに開催した第4回テクノ・ジャズ・フェスティバル、新たな試みを含めて、盛況の内に無事終了出来たこと、参加者の皆さん、招聘ミュージシャンの皆さん、ご協力頂いたスタッフの皆さんに感謝感謝です。</p> <p>新型コロナウイルス対応の為に試みたりリモートライブ配信等、播磨科学公園都市を芸術文化の拠点とする為の新たなノウハウが蓄積できた。そのことを今後に生かしたいと思っている。</p>

上郡校区まちづくり推進委員会

千種川リバーアスロン 2022

所在：赤穂郡上郡町
代表：山本 剛

目的	上郡町内を流れる地域の財産である清流千種川を活用し、かつて栄えた中心市街地を拠点として地域の魅力を再発見する活動を展開し、地域活性化の一助とする																								
事業内容	<p>上郡町を貫流する清流千種川を含む自然豊かな地域を堪能するイベント「千種川リバーアスロン」今年度で5回目を迎える。 今年度は実施日を5月と10月に分けて開催した。</p> <p>5月29日（日）ツーダムライド（サイクリングベテランコース） 10月30日（日）西播磨古代への旅（サイクリング初級コース） 駒山城を攻める（登山初級コース） 千種川を堪能する（ウォーキングコース）</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響下、参加人数が不透明であったが、集合場所等でマスクの着用、体温検査実施、手洗い励行等を実施して開催した。 天候にも恵まれ、それぞれのコースの特徴を生かした準備を進めた結果、参加者の皆さん楽しんで頂けたイベントになったと自負しています。</p> <p>参加者実績</p> <table border="1"> <tr> <td>ツーダムライド（サイクリングベテランコース）</td> <td>5/29</td> <td>60km</td> <td>106名（町外95名）</td> </tr> <tr> <td>西播磨古代への旅（サイクリング初級コース）</td> <td>10/30</td> <td>20km</td> <td>37名（町外29名）</td> </tr> <tr> <td>駒山城を攻める（登山初級コース）</td> <td>10/30</td> <td>7km</td> <td>34名（町外24名）</td> </tr> <tr> <td>千種川を堪能する（ウォーキングコース）</td> <td>10/30</td> <td>6km</td> <td>25名（町外11名）</td> </tr> <tr> <td>参加者総数</td> <td>202名（町外159名 79%）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>協力スタッフ、ボランティア</td> <td>56名（5/29） 33名（10/30）</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	ツーダムライド（サイクリングベテランコース）	5/29	60km	106名（町外95名）	西播磨古代への旅（サイクリング初級コース）	10/30	20km	37名（町外29名）	駒山城を攻める（登山初級コース）	10/30	7km	34名（町外24名）	千種川を堪能する（ウォーキングコース）	10/30	6km	25名（町外11名）	参加者総数	202名（町外159名 79%）			協力スタッフ、ボランティア	56名（5/29） 33名（10/30）		
ツーダムライド（サイクリングベテランコース）	5/29	60km	106名（町外95名）																						
西播磨古代への旅（サイクリング初級コース）	10/30	20km	37名（町外29名）																						
駒山城を攻める（登山初級コース）	10/30	7km	34名（町外24名）																						
千種川を堪能する（ウォーキングコース）	10/30	6km	25名（町外11名）																						
参加者総数	202名（町外159名 79%）																								
協力スタッフ、ボランティア	56名（5/29） 33名（10/30）																								
地域	千種川流域（佐用町上月地区、上郡町、赤穂市有年地区） 備前市八塔寺川ダム周辺																								
事業の効果	<p>○継続は力なり。回を重ねるに従い、西播磨地域の多くの方々に認知されるイベントに成長したと思われる</p> <p>○広域での連携体制が機能した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/29開催のツーダムライドでは備前市の地域づくりの皆さん、佐用町役場、佐用町元気工房さよらの皆さん等の協力を頂き ・10/30開催のサイクリング初級コースではうね地区まちおこし隊の皆さん等の協力を頂き <p>広域でのイベント（特にサイクリングコース）が実現で出来た。</p> <p>○コースガイドの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月30日のイベントでは、上郡町観光ガイドの皆さんと協力して各立寄りポイントのガイド資料を作成し、参加者の皆さんに配布し喜んで頂いた ・ウォーキングコースでは、上郡町郷土資料館で開催中の大鳥圭介特別展に立ち寄り、島田学芸員より郷土の偉人大鳥圭介のレクチャーを受ける機会を設け充実した内容になったと思われる 																								

事業の効果

○地元産品のアピール

- 参加者の皆さんには、各コースの休憩所で心の籠ったメニューを味わって頂いた
- ・5/29 潟の家弁当（備前市潟の家）、豆っこ大福、わらび餅、手づくりジュース（佐用町元気工房さよう）、モロヘイヤうどん（上郡町平田製麺所）
 - ・10/30 コネルのパン（上郡町ベ-カ-コ社）、モロヘイヤうどん（上郡町平田製麺所）
古代米弁当（うね地区まちおこし隊+Hana テラス）、
スイーツ（上郡町ひがし蔵）、おにぎり（コープこうべ上郡店）
 - ・10/30 最終地点の上郡町役場前では、鞍居ふるさと村づくり協議会の皆さんがモロヘイヤ商品、鞍居桃ジャム等地元産品の販売をして頂いた

○こころの籠ったおもてなし効果

スタッフの人数に限られる中で、スタッフ、ボランティアの皆さんの心を込めた対応は、参加者の皆さんのハートに十分に届いたことと思われる

上記の様な対応で、

清流千種川沿道（佐用町、上郡町、赤穂市）や八塔寺川ダム周辺（備前市）の豊かな自然環境を参加者の皆さんにアピールできたと自負しています

		場 所	事 業 内 容	参加者数	スタッフ数
事業経過	2022/4/4	菊森さんの家	ツ-ダムライドチラシ仕分け		2名
	2022/4/7	上郡町役場	梅田町長、山本副町長、協力要請 吉村備前市長 協力要請		2名
		備前市役所			
	2022/4/8	ひょうご観光本部	チラシ、ポスター配布		1名
	2022/4/12	西播磨県民局	渡瀬県民局長、荒谷光都土木所長、光都土木ダム課、協力要請		3名
	2022/4/12	上郡町役場	神戸新聞取材		1名
	2022/4/14	上郡消防署	津村所長訪問 イベント報告		1名
	2022/4/20	佐用消防署	春國所長訪問 イベント報告		1名
	2022/4/21	東備消防署	三輪所長訪問 イベント報告		1名
	2022/4/21	菊森さんの家	東備西播定住自立圏補助金審査会事前打ち合わせ		3名
	2022/4/23	赤穂市役所	東備西播定住自立圏補助金審査会		3名
	2022/4/28	上郡町役場	上郡町地域おこしイベント補助金審査会		3名
	2022/4/30		神戸新聞西播版 記事掲載		
2022/4/30	菊森さんの家	上郡町役場前設営打ち合わせ		2名	

事業経過	2022/5/2	備前警察署 相生警察署	道路使用許可申請書提出		1名
	2022/5/2	備前市吉永	土山自治会長と進路誘導の打ち合わせ		1名
	2022/5/6	備前市渦の家	昼食「渦の家弁当」打ち合わせ		2名
	2022/5/9	菊森さんの家	作戦会議		10名
	2022/5/10	八塔寺川ダム 管理事務所	濱家所長 情報交換 ダムカード要請		1名
	2022/5/11	光都土木事務所	荒谷所長、柴田副所長、 情報交換 ダムカード要請		2名
	2022/5/11	上月	ほっとネット373 役員会 進路誘導要員協力要請		8名
	2022/5/14	菊森さんの家	進路誘導要員配置打ち合わせ		3名
	2022/5/15	備前市 渦の家	片上まちづくり会議メンバーと 打ち合わせ 八塔寺川ダムおもてなしについて		3名
	2022/5/19	佐用上月地区	上月地区各自治会長に回覧配布 (8自治会)		1名
	2022/5/20	上郡町社会福祉協議会	進路誘導ボランティアさんと打ち合わせ		5名
	2022/5/23	菊森さんの家	作戦会議		9名
	2022/5/24	備前市市民センター	千種川リバーアスロンについて 講演(安則) 主催 片上まちづくり会議		5名
	2022/5/25	上月	ほっとネット373 総会 進路誘導打ち合わせ		8名
	2022/5/27	菊森さんの家	作戦会議 進路誘導打ち合わせ		3名
	2022/5/28	ツーダムライドコース 上郡町役場前	矢印、看板 設置 会場設営		2名 3名
	2022/5/29	ツーダムライド	7:00 会場設営 8:00 受付開始 9:00 開会式 9:30 スタート 無事終了 16:00 後片付け	106名	56名
	2022/6/26	西播磨県民局	地域づくり活動応援事業審査会		3名
2022/6/27	登山コース	コース確認		2名	

事業経過	2022/6/29	サイクリングコース	コース試走確認		2名
	2022/7/29	菊森さんの家	作戦会議		5名
	2022/8/22	菊森さんの家	全戸配布チラシ仕分け		1名
	2022/9/15		上郡町各自治会経由全戸配布		
	2022/9/20		上郡民報 千種川リバーアスロン2022 記事掲載		
	2022/9/30	菊森さんの家	作戦会議		7名
	2022/10/7	サイクリングコース	コース確認		4名
	2022/10/11	相生警察署	道路使用許可申請書提出		1名
	2022/10/18		神戸新聞全県版 記事掲載		
	2022/10/19	上郡町社会福祉協議会	サイクリング 進路誘導担当者説明会		6名
	2022/10/21	ウォーキングコース	草刈り		6名
	2022/10/25	サイクリングコース	試走確認		3名
	2022/10/26	菊森さんの家	作戦会議		12名
	2022/10/27		弁当、スイーツ等発注 傷害保険契約		1名
	2022/10/29	ウォーキングコース	コース確認		2名
		上郡役場前	会場資材搬入		3名
	2022/10/30	千種川リバーアスロン2022 秋の陣	8:00 会場設営 8:30 受付スタート 9:00 サイクリング 開会式 スタート 9:30 登山開会式 スタート 10:00 ウォーキング 開会式 スタート 無事終了 15:00 片付け	37名 34名 25名	33名
	2022/11/2	菊森さんの家	上郡民報取材		1名
	2022/11/22	上郡町つばき会館	反省会・懇親会		13名
2022/12/1 ～ 2022/12/4		報告書作成		1名	

2022/5/29 ツーダムライド



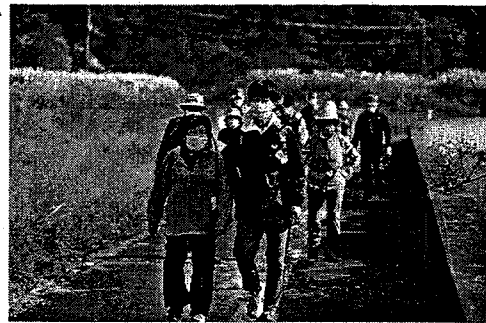
2022/10/30 西播磨古代への旅



2022/10/30 駒山城を攻める



2022/10/30 千種川を堪能する



下記の皆様のご協力を得てイベントが実現できました、感謝感謝です

協働の相手方

NPO ほととネット 373、里山 ITC 能開学校、上郡サイクリングクラブ、AC SAYO (佐用町) 赤穂サイクリングクラブ、瀧の家を育てる会、片上まちづくり会議、備前市社会福祉協議会、上郡町社会福祉協議会、兵庫県光都土木事務所、岡山県八塔寺川ダム管理事務所 (公財) 兵庫県健康財団、上郡町観光ガイド (SACLA)、うね地区まちおこし隊、赤穂市有年考古館、上郡アルプス実行委員会、半田モーターサイクル、ギャラリーひがし蔵、ベーカリーコネル、元気工房さよう、平田製麺所、Hana テラス、木村写真館

今後の展望

過去 5 年間継続して開催してきたことにより地域に認知された上郡町のイベントになったと思われる。 次のステップはイベントを企画できる人材を育成しボランティア活動からビジネスとして事業化できる体制に移行することを検討したい

三軌：兵庫西播磨の会

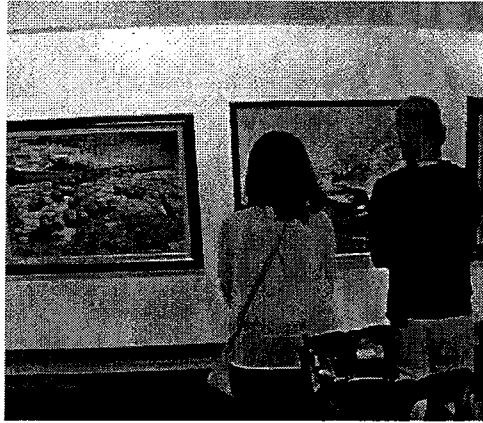
西播磨の「水の郷」展覧会による魅力再発見事業

所在：たつの市
代表：横田 京悟

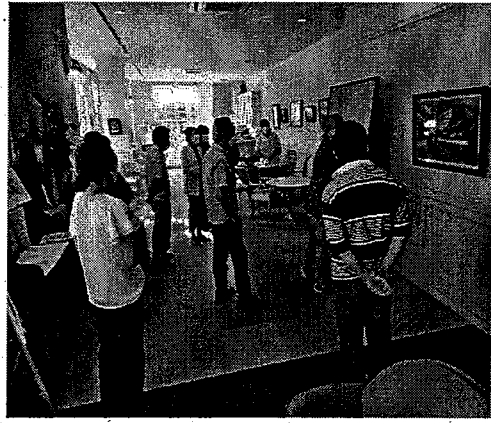
目的	水の郷をテーマに絵画展を様々な場所で開催し、西播磨の魅力を発信するとともに、講演会、座談会、体験型講座などを併せて行う。その事業を通して、多くの子どもたちや障害者や大人が作品に触れ、その魅力や表現に理解を深め、多くの人々が参加していくことにより、観光資源の発掘、発信につなげていくことを目的とした。				
事業内容	西播磨の水の郷をテーマにした絵画展を年間5回、約1か月単位で開催し、県内外から多くの観覧者を招き、その間に作家の思い、絵画の講評、魅力ある観光資源の発掘などについての講演会、座談会を開催した。また、夏休み期間に子どもたちを対象にワークショップ（体験型学習）を開催し、福祉施設においては障害者を対象とした絵手紙展を開催し、水をテーマ曲にした音楽コンサートも併せて開催した。西播磨の魅力を広く発信し、絵画や写真に興味を抱いていただく制作ができた。				
地域	揖保川町新在家	ギャラリー池川	5月4日～5月30日の27日間		
	神岡町田中	アネックス	8月1日～9月30日の2か月間		
	相生市	なぎさホール	10月24日（月）		
	御津町室津	室乃津まつり・海駅館	11月6日（日）		
	龍野町富永	ピアさぼーとセンター	12月12日～26日の15日間		
	龍野町下霞城	大正ロマン館	1月14日～29日の16日間		
事業の効果	西播磨在住の作家を中心として近隣の作家が志を同じくし、西播磨の水と郷をテーマに風光明媚な資源を題材にした絵画展示を行うとともに、併せて講演会、座談会、ワークショップ、コンサートを開催することにより、子どもたちや障害者に体験型講座を開催し、一般の方々には講演会、座談会を通じて、西播磨の魅力を内外に発信し、本会の目的とするところを観覧者に理解していただけたと感じている。子どもたちや障害者、一般の方々が地域の魅力に目を向け、気づき、西播磨の観光資源の発掘につながる。この観光資源の中で様々な活動を行うことの有意義さを感じていただき、今後も賛同者による活動が活発になることを期待しています。そのことにより西播磨の自然の美しさに対する理解と再発見につながるものと信じています。				
		場 所	事 業 内 容	参加者数	スタッフ数
事業経過	5月4日 ～ 5月30日 27日間	揖保川町新在家 ギャラリー 池川	水の郷をテーマにした絵画 約40点を展示し、多くの観覧者 に感動を与えた。	1,200人	4人

事業経過	8月1日 ～ 9月30日 2か月間	神岡町田中 龍野クラシックゴルフ場 アネックス	水の郷をテーマに絵画25点、陶芸1点、人形1点、書道3点を展示した。 この期間の4日間、小学生を対象としたお絵描き体験学習、ワークショップを開催し、約30人が参加した。	1,000人	7人
	10月24日 1日	相生市 なぎさホール	横田代表が相生市金ヶ崎学園大学で、「何かに夢中になる」と題して、絵画について、水の郷西播磨の美しさに魅かれて絵画制作に取り組んできた思いを語る	250人	2人
	11月6日 1日	御津町室津 室乃津まつり海駅館	室乃津まつりにおいて、室津の海を拠点に廻船した北前船をテーマに、子どもたち約60人が自由に絵を描き加え、海と船と魚の巨大絵を完成させた。	800人	4人
	12月12日 ～ 12月26日 15日間	龍野町富永 ピアさぼーとセンター	障害者施設において、絵画30点、陶芸1点、人形2点、書道5点を展示するとともに、障害者27人の絵手紙を展示公開した。 また、12月14日、19日には同会場にて音楽コンサートを開催し、水をテーマにした曲目を演奏した。	500人	10人
	1月14日 ～ 1月29日 16日間	龍野町中霞城 大正ロマン館	絵画25点、陶芸4点、人形2点、書道3点を展示公開した。市内外から、観光客が多く訪れた。	300人	8人
	2月5日	代表者宅	会員及び参画者による反省会、事業報告及び決算報告の承認 当初会員7名に参画者3名		10人

ギャラリー池川での展示
5月4日～30日 約1,200人來場



アネックスでの展示
8月1日～9月30日
約1000人來場
講評・講演会 8月28日



室乃津祭での北前船絵画制作
2メートル四方のキャンパスに子どもたちが自由に絵筆を走らせ、海と船と魚の巨大絵を完成
11月6日子ども自由参加約60人



障害者施設 ピアさぼーとセンターでの展示。障害者の絵手紙も展示
14日、19日は、音楽コンサートを開催し、水の曲も披露
12月12日～26日 約500人



<p>協働の相手方</p>	<p>絵画と写真家とのコラボレーションは、より感性の深い魅力の発信につながる。 絵画と音楽家とのコラボレーションは、視覚と聴覚による両面からの感受性を高めることができる。 障害者の創作活動の発展性に期待する。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>幅広いジャンルとの共同開催により、より多くの理解者や参加者を募ることが期待できる。 また、子どもや高齢者の層の広い方々の参加も期待できる。 この事業を継続することにより、活動の定着とファンの獲得が期待できる。</p>

陰陽師の里 江川フェスティバル実行委員会

STAR GATE 2022 the kids

所在：佐用郡佐用町
代表：岡野 俊昭

<p>目的</p>	<p>廃校になった旧江川小学校（現在はドローンスクールが開校）や周辺施設を利用し、秋の一日を楽しく過ごしていただける、子供たちを中心に文化度の高いイベントを開催し、江川地域の子供たちの笑い声や笑顔を復活します。 また、地域の文化度を醸成し、子育て世代の定住、移住などに結びつけます。</p>
<p>事業内容</p>	<p>今年のテーマは「こども」。子どもが楽しめるイベントを中心に企画しました。コロナ禍ということもあり、実行委員会はほとんどWEBでの開催となりましたが、スタッフの協力でイベントの準備が整い、10月1日、晴天の中「STAR GATE 2022 the kids」を旧江川小学校で開催しました。</p> <p>「イベント」では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館には「こどものあそびば」を設け、ダーツ、紙芝居、紙飛行機、風船、輪投げを実施し、子供たちの歓声が聞こえました。また、「親子体操」でも延べで20名の親子に参加いただきました。 ・「中庭」では、4時間にわたり、①キッズダンス（LITTLE BOX）、②吹奏楽演奏（上郡吹奏楽団）、③岡本隆根さんによるロックライブなどを実施し、90名の皆さんにご観覧いただき、観客席からも歌声が聞こえてきました。 ・近くの「栗山」では「親子で栗拾い体験」を実施し、80名の親子の皆さんに栗拾いを楽しんでいただきました。 ・「校庭」では、昼間に「ドローン操作体験」に30名が体験参加。夜（18時から）の西はりま天文台「鳴沢真也博士」による「星空観察」には18名が参加し、江川の夜空に輝く星座に歓声があがりました。 ・「教室」では、文化作品展、陰陽師・巫女衣装（コスプレ用）の無料貸出、三枝雄子さんによるメイクレッスンや、飲食、日用雑貨の出店販売などを開催しました。 <p>子どもたちや子育て家族を中心に、約720名の多くの皆さんにご来場いただき、秋の江川の里山で、楽しく過ごしていただくことができました。</p>
<p>地域の現状</p>	<p>江川地域は農林業が中心の地域ですが、ほとんどの農家は兼業農家です。近年は後継者である若者が都市部に出ていき、少子化の中で平成26年3月には江川保育園や江川小学校が統廃合になりました。</p> <p>子供たちは自家用車やスクールバスで町中の佐用保育園、佐用小学校に通うため、江川地域から子供たちの笑い声が聞かれなくなり、寂しい過疎地になっています。</p>
<p>事業の効果</p>	<p>延べで約720名の皆様にご来場いただき、江川の秋の里山で子供たちと一緒に楽しい時間を過ごすイベントを開催できました。</p> <p>住民の皆さんの笑顔が見られ、楽しい暮らしの風景が見え始めています。江川で暮らしたくなる地域づくりへと結びつけます。</p>

		場 所	事 業 内 容	参加者数	スタッフ数
事業経過	6月19日 第1回 実行委員会 6月19日	江川地区文化 センター &ウェブ開催	実行委員会 ・総会開催 ・事業計画案、予算案 ・その他		10名 & 5名
	6月25日 第2回 実行委員会	ウェブ開催	実行委員会 ・実施計画協議等 ・工程表作成、機材の確認、 準備 ・ポスターデザイン検討 ・出展候補者リスト作成・出店 依頼① ・協賛、協力団体等依頼		15名
	7月28日 第3回 実行委員会	ウェブ開催	実行委員会 ・予算の見直し ・ポスター等発注 ・備品、玩具の確認、買物リス ト作成 ・出店依頼②		15名
	8月14日 第4回 実行委員会	江川地区文化 センター &ウェブ開催	実行委員会 ・装飾等確認、準備 ・出店者再確認 ・会場配置計画素案作成 ・ポスター掲示、チラシ配布		6名 & 9名
	9月1日 第5回 実行委員会	ウェブ開催	実行委員会 ・会場配置計画確定 ・チラシ江川地区内再配布 ・出店者へのお願い配布		15名
	9月30日 第6回 実行委員会	会場 (旧江川小学校)	・会場設営		8名 その他 協議会9名 JUAVAC3名
	10月1日 STAR GATE 2022 the kids	会場 (旧江川小学校)	・STAR GATE 2022 the kids 開催	来場者 約720名	10名 その他 消防団7名
	10月1日 第7回 実行委員会	会場 (旧江川小学校)	・会場片付け ・課題等意見集約		7名 その他 協議会9名 JUAVAC3名
	11月5日 第8回 実行委員会	菅井事務所 &ウェブ開催	実行委員会 ・報告書素案作成 ・決算素案作成 ・反省会		4名 & 11名
	12月1日 第9回 実行委員会	ウェブ開催	実行委員会 ・報告書作成 ・決算書作成		11名
1月20日 第10回 実行委員会	ウェブ開催	実行委員会 ・報告書、決算書 確認 ・報告提出準備		11名	

R4.10.1
中庭の「キッズダンス」風景



R4.10.1
会場の風景



R4.10.1
体育館の「親子体操」風景



R4.10.1
体育館の「紙芝居」風景



<p>協働の相手方</p>	<p>① ドローンスクール (JUAV ドローンエキスパートアカデミー兵庫校・運営/(株) T&T) ② 江川地域づくり協議会 ③ 佐用町観光協会</p>
<p>今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・江川地域の皆さんが企画、準備段階から参加できる活動に広げていきたい。 ・江川地域の皆さんに笑顔を届けられる活動につなげていきたい。 ・江川で暮らしたくなる地域づくりへと結びつけたい。